

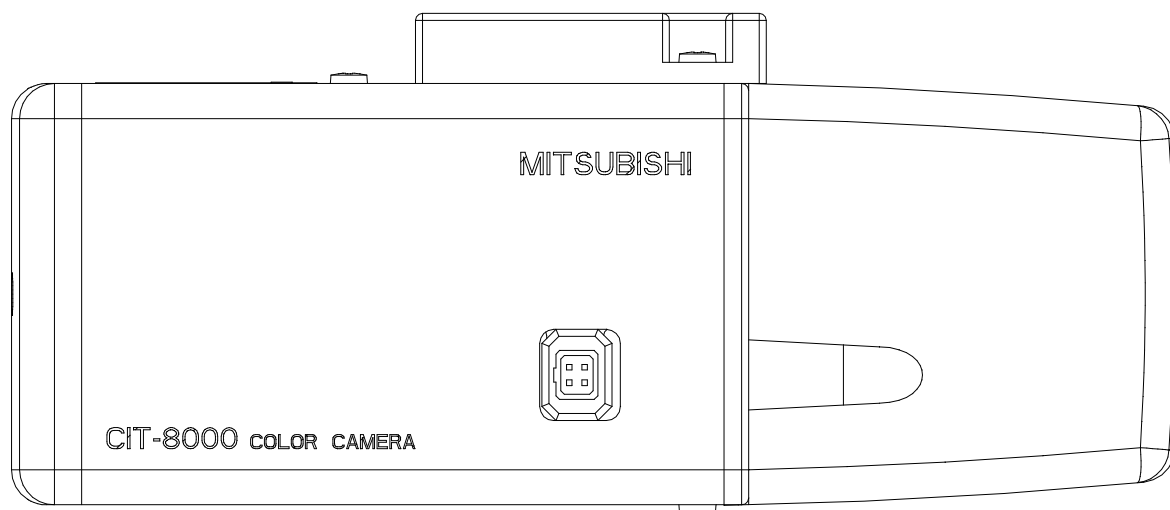
MITSUBISHI

カラーカメラ

形名

CIT-8000

取扱説明書／保証書



このたびは三菱カラーカメラをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。
そのあと大切に保管し、必要なおきにお読みください。
保証書は、この取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

U871Z072001A

SM-Y7647A

この取扱説明書は再生紙を使用しております

[もくじ]

安全のために必ずお守りください	3
特長	6
構成	7
各部の名称	8
使用レンズについて	10
接続のしかた	12
カメラの設定	14
設定項目フローチャート	14
工場出荷時設定	16
設定メニュー画面	17
SYSTEM 画面	18
同期位相の設定	19
カメラ ID 表示の選択	20
マイクの選択	24
初期化の選択	24
Y CONTROL 画面	25
アイリスモードの選択	26
逆行補正の設定	26
ゲインコントロールの選択	30
・ マニュアルゲインコントロール (MGC) の設定	30
・ オートゲインコントロール (AGC) の設定	34
フリッカ補正機能の選択	38
画質・解像度の調整	39
COLOR 画面	40
ホワイトバランスモードの設定	41
オートホワイトバランス (AWB) の設定	41
・ マニュアルホワイトバランス (MWB)	46
・ ホワイトバランスロックの設定	50
濃淡の設定	51
クロマサプレスの設定	51
IMAGE TUNE 画面	52
ガンマ・ニーの設定	53
画素欠陥の検出・補正の設定	54
カメラ設定の入出力選択	58
CCD の傷について	61
お手入れのしかた	61
故障かな?と思ったら	61
保証とアフターサービス	61
仕様	62
外形図	63
カメラ設定項目 (メニュー) 詳細説明もくじ	64

安全のために必ずお守りください

使用上のご注意説明書

- 本文中に使われる「図記号」の意味は右のとおりです。
- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

	禁止		指示を守る
	分解禁止		電源プラグを抜く
	水場での使用禁止		

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの

万一異常が発生したら、電源ユニットの電源をすぐ切る！



映像が出ない、煙、変な音においがするなど、異常状態のまま使わないでください。火災の原因となります。

このようなときはすぐに電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどの電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなったのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

異物を入れない



金属類や燃えやすいものなどが入ると火災の原因となります。

万一異物が入ったときは、すぐに電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水気の多い場所では使わない



水気の多い場所での使用は、内部に異物や水が入ると、火災の原因となります。

万一内部に異物や水が入ったときは、すぐに電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

強度が十分なところに取付ける



ぐらついた台の上や傾いた所、弱い壁面、天井などの不安定な場所に取付けないこと。

またバランス良く取付けること。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。取付けは販売店にご依頼ください。

ケースははずさない。改造しない



本機の内部にさわったり、改造すると火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

指定の電源ユニットを使用する



指定の電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど以外で使用すると、火災の原因となります。

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

次のような置きかたはしない

火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所。水、油煙のかかる所。
- 風通しの悪いところ、狭い場所に押し込む。
- じゅうたんや布団の上に置く、布などをかける。
- 直射日光のあたる所や熱器具のそば。
- 壁や天井に近付きすぎ。（設置の際は、壁や天井から 10 cm以上離してください。）



重い物をのせない、無理な力を加えない

本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本機に無理な力を加えないでください。無理な力を加えると壊れたり、落下してけがの原因となることがあります。

特にお子さまにはご注意ください。



同軸ケーブルを傷つけたり、加工したりしない

重い物をのせたり、熱器具に近づけないこと。傷ついたケーブルをそのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災、感電の原因となることがあります。ケーブルが傷んだらすぐ販売店にご連絡ください。



移動させる場合は外部の接続線ははずす

同軸ケーブルに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる時は同軸ケーブル、機器の接続をはずしたことを確認してください。



定期的にお掃除を

販売店におまかせください。定期的な掃除は火災、故障を防ぎます。

特に梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については販売店にご相談ください。



長期間ご使用にならないときは

安全のため、必ず電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどの電源プラグをコンセントから抜いてください。



国外での使用禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では使えません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.



車載用機器ではありません

衝撃、振動のある所に設置すると故障の原因となります。

例) 車両、船舶、航空機、機関室、工事用機械など



お願い

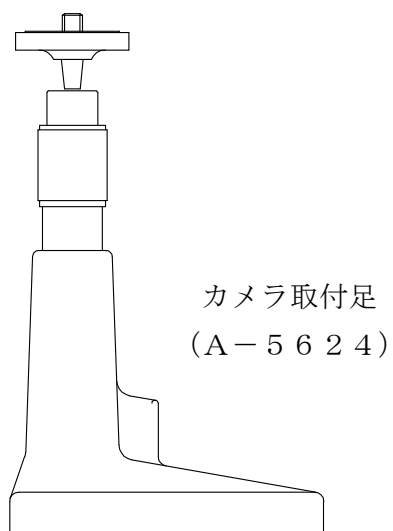
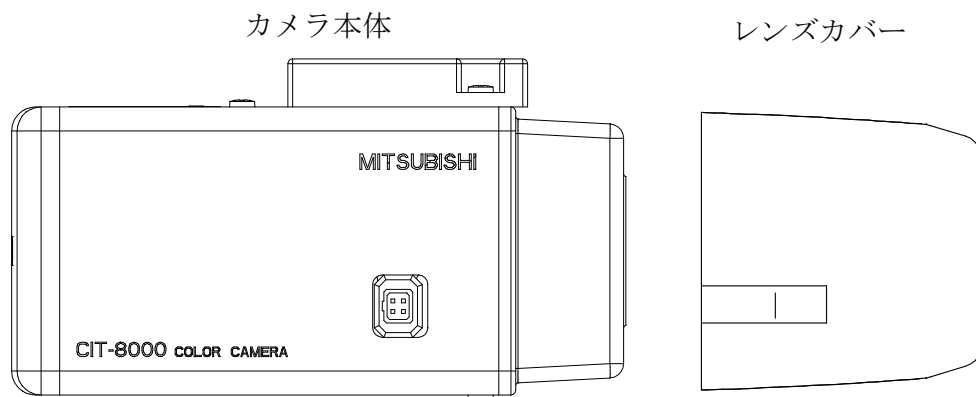
<p>持ち運びはていねいに 本機は落下すると破損する可能性があります。持ち運びには十分に注意して行ってください。</p>	<p>本体のお手入れは お手入れの際は電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどの電源プラグをコンセントから抜いてください。やわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、拭いてください。</p>
<p>ケースを傷めないために ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげたりする原因となります。 【化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。】</p>	<p>レンズ及びレンズカバーのお手入れは ほこりや汚れが付着した場合は、レンズクリーナーやエチルアルコールなどを用いて表面にキズが付かないようにレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラ等の清掃に使うもの）で拭き取ってください。</p>
<p>使用温度範囲でご使用を 本機の使用周囲温度は-10℃～+50℃です。使用周囲温度外でご使用になると故障の原因となることがあります。</p>	<p>カメラを太陽に向けないで カメラを使用しているとき、使用していないときにかかわらずカメラを太陽に向けないで下さい。</p>
<p>強い光を映さないで 映した映像の一部にスポット光のような強い光があるとスミア（縦縞）やブルーミングを生じることがありますのでさけてください。 強い光により生じるスミア（縦縞）やブルーミングは故障ではありません。</p>	<p>ケーブルは最大延長距離以内で カメラと電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどの間は 5C-2V の場合、500m 以内で接続してください。 500m を超えて接続すると、電源の供給及び同軸ワンラインを通じての制御（電源ユニットを除く）が行えなくなります。 カメラとカメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどの中には、他の機器を接続しないで下さい。通信ができなくなります。</p>

特長

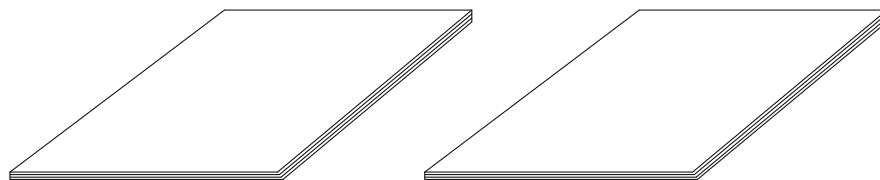
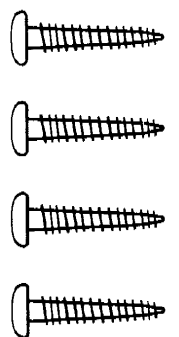
- 高解像度、高画質
高解像度対応新D S Pの採用により、水平解像度 535 本以上の鮮明な映像が得られます。
- 高感度
当社独自の輝度制御方式により、0.5[1x]の最低被写体照度を実現します。
- エリア選択逆光補正機能
画面上で 15（水平）×15（垂直）マスから逆光補正したいエリアを選択して、見たい所を鮮明に映し出します。
- 画質選択機能
ガンマ(8段階)、ニー(6段階)の組合せにより、48通りの画質設定から、シチュエーションに合わせて選択することができます。
- 簡単設定機能
WORD INPUT 機能により、ほとんど全てのカメラ設定項目を一度に設定することができます。
- 高機能なのに省線化
電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラと接続することにより、同軸ケーブル 1 本で映像信号、電源を供給することが可能です。また、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラからはカメラの各設定のリモートコントロールが可能です。
- 集音機能
カメラ内にマイクを内蔵しており、集音が可能です。同軸ケーブルに音声信号を重畳しますので音声用別線が必要ありません。ただし、音声再生には、電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラに音声カード（別売）を接続する必要があります。
- オートホワイトバランス機能
CPU 制御によるオートホワイトバランスにより、安定した色再現性が得られます。また、ホワイトバランスの微補正設定機能や水銀灯などに対する自動色補正機能があります。
- 文字表示機能
12 桁のカメラ ID 表示機能を装備しています。表示位置の選択（6ヶ所）も可能です。
- 電子シャッター機能
高速で移動する被写体を鮮明にとらえるために、シャッタースピードを 1/60～1/10000 s の 8 段階に切り換えられる電子シャッターを装備しています。
- フリッカキャンセル
電源周波数 50Hz 地域での蛍光灯下などでの撮影時に発生する画面のチラツキ（フリッカ）を軽減する機能を装備しています。
- モニタ端子装備
設置時の映像確認用のモニタ端子を装備しています。カメラコントローラなどの設置場所まで行かなくても、カメラのそばで映像を見て設定や確認をすることができます。

構成

1. CIT-8000 形カメラ本体----- 1
2. カメラ取付足 ----- 1
3. レンズカバー（固定焦点レンズ用） ----- 1
4. カメラ取付足取付用ネジ ----- 4
5. 取扱説明書／保証書（本書） ----- 1
6. 据付工事説明書 ----- 1



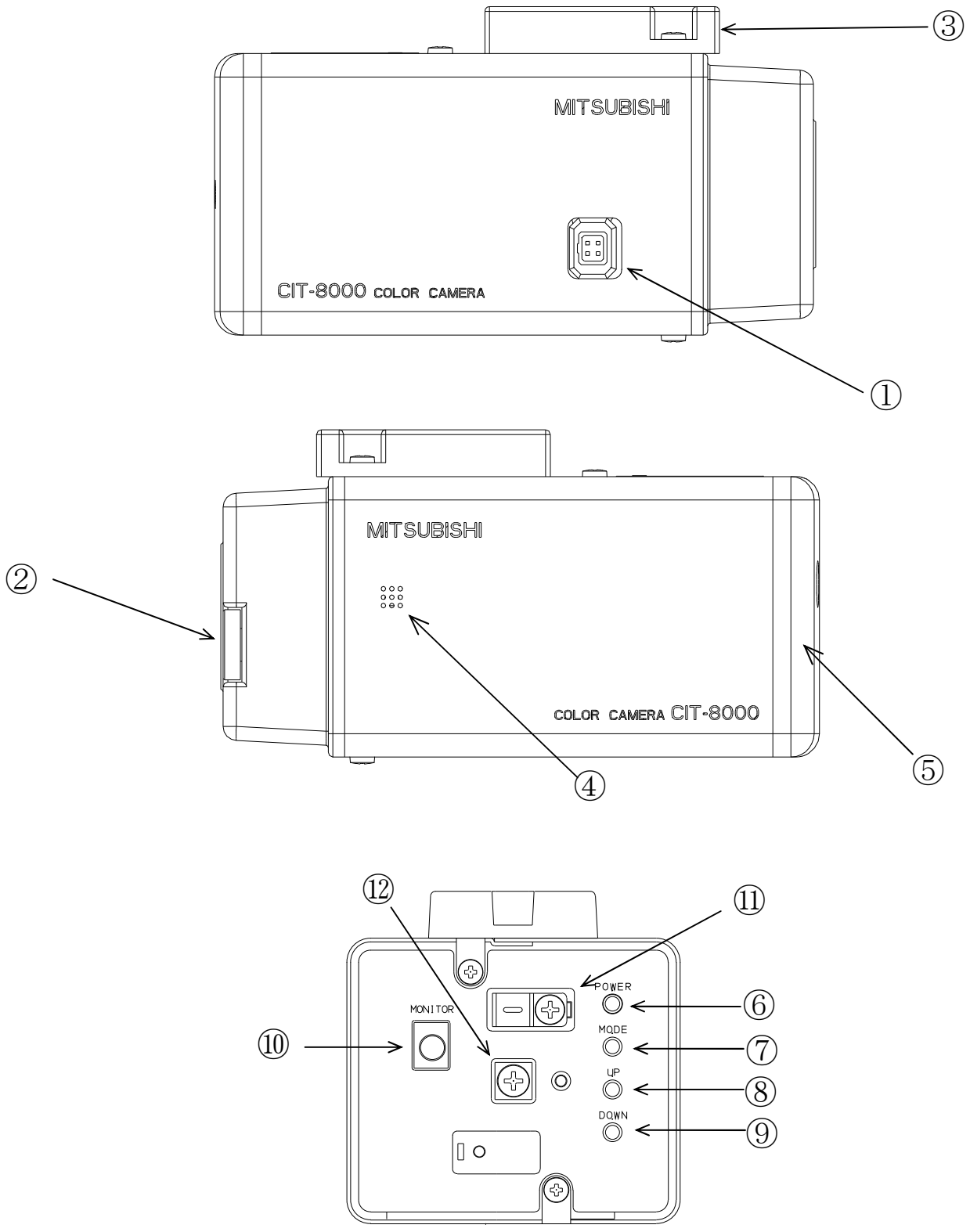
カメラ取付足取付用ネジ
(M3×20)



取扱説明書／保証書（本書）

据付工事説明書

各部の名称



注) 背面カバー脱着図

① **レンズコネクタ**

レンズのコネクタを接続します。

② **フランジバック調節リング**

レンズのフランジバック（バックフォーカス）を調節するときに回します。CS マウントのレンズに対応しています。

③ **絶縁取付アダプタ**

カメラ取付足を取付けるときに使用します。

④ **音孔**

音声の入力孔です。マイクが内蔵されています。

⑤ **背面カバー**

脱着が可能で、外すとモードアップダウンスイッチ等があります。

⑥ **電源表示LED (POWER)**

電源が入っているとき点灯します。

⑦ **モードスイッチ (MODE)**

カメラの設定項目を選択、決定するスイッチです。

⑧ **アップスイッチ (UP)**

設定項目の選択、及び設定値をH方向（右方向、番号の増加方向）に設定するスイッチです。

⑨ **ダウンスイッチ (DOWN)**

設定項目の選択、及び設定値をL方向（左方向、番号の減少方向）に設定するスイッチです。

⑩ **モニタ出力 (MONITOR)**

画角調節、レンズのフォーカス調節時に使用します。映像にノイズ等発生する場合がありますためその他の用途には使用しないでください。

⑪ **同軸ケーブルクランプ**

同軸ケーブルのシールド部を接続します。

⑫ **接続端子**

同軸ケーブルの芯線部を接続します。

使用レンズについて

- レンズは必ず DC 駆動タイプをご使用ください。（下表より選定してください）

CIT-771/776/763 で使用していたビデオ駆動のズームレンズは使用できませんのでご注意ください。

下表以外のレンズを使用した場合はハンチング等の不具合が生じる可能性があります。

（次ページにレンズ選定方法の詳細説明がありますのでご参照ください。）

- 付属のレンズカバーは、固定焦点レンズ使用時に装着できます。

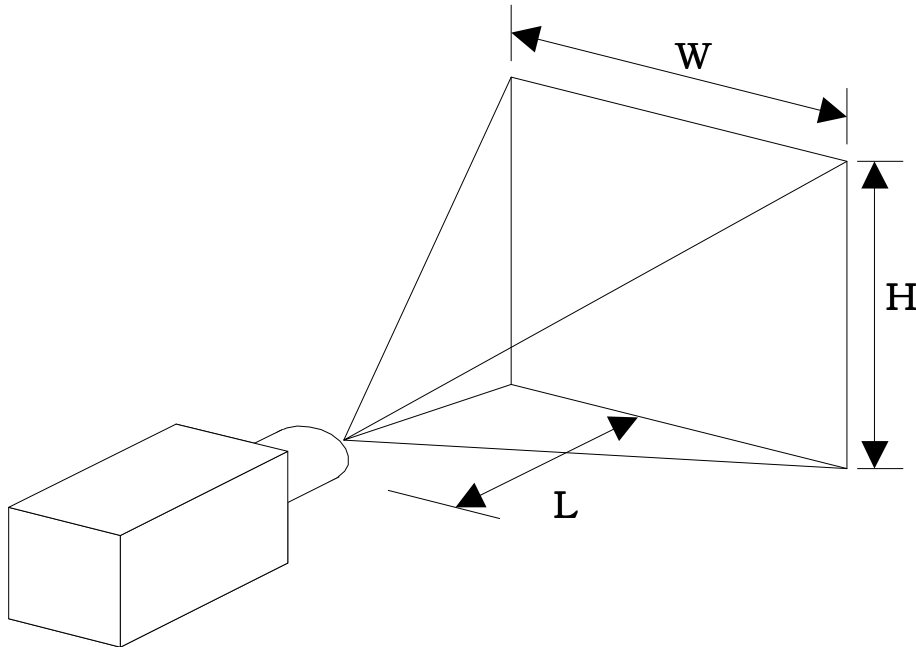
バリフォーカルレンズのレンズカバーは、バリフォーカルレンズに同梱しています。

形名 レンズ種別	焦点 距離	最大 口径比	絞り	包括角度		至近 距離	マウ ント	フィルタ サイズ	外形 寸法	質量
				水平	垂直					
TG2813FCS-3 超広角 ND 付 EE	2.8 mm	1:1.3	F1.3 ~360	91.1°	70.0°	0.2m		M30.5 P=0.5 mm	φ 32.0 × 39.8 × 33.0 mm	41g
TG0412FCS-3 広角 ND 付 EE	4 mm	1:1.2	F1.2 ~360	63.9°	49.1°					38g
TG0812FCS-3 標準 ND 付 EE	8 mm			34.7°	25.9°					0.4m
C-3V3R5P8NIR 近赤外光対応バリフォー カル	3.5~ 8 mm	1:1.4 (広角) 1:1.8 (望遠)	F1.4 ~300	79.8° ~ 35.4°	58.7° ~ 26.6°	0.35 m			φ 40.4 × 45.7 × 43.5 mm	55g
T6Z5710AIDC-CS C B C (株) 製 6 倍手動ズーム	5.7~ 34.2 mm	1:1.0	F1.0 ~360	45.9° ~ 8.1°	34.8° ~ 6.2°	1.2m	C S	M49 P=0.75 mm	φ 53 × 64 × 82.5 mm	295g
T6Z5710DC-CS C B C (株) 製 6 倍ズーム	5.7~ 34.2 mm								68.5 (W) × 76.3 (H) × 82.5 (D) mm	440g
T6Z5710PDC-CS C B C (株) 製 6 倍プリセットズーム	5.7~ 34.2 mm								480g	
TS10ZME-3 (DC) ペンタックスプレシジョン (株) 製 10 倍ズーム	5.8~ 58 mm	1:1.2 (広角)	F1.2 ~360	44.0° ~ 4.78°	33.8° ~ 3.62°	1.8m			64.6 (W) × 70.3 (H) × 85.0 (D) mm	380g
TS10ZME-3P (DC) ペンタックス プレシジョン (株) 製 10 倍プリセットズーム	5.8~ 58 mm	1:1.7 (望遠)							430g	

(2005 年 1 月現在)

レンズの選定方法

- 被写体の大きさ、被写体までの距離でレンズを選定できます。
レンズの焦点距離による撮像範囲は、以下の計算式で求めることができます。



$$H = \frac{3.6}{f} \times L \quad , \quad W = \frac{4.8}{f} \times L$$

3.6 : 1/3 型 CCD 撮像面の高さ [mm]

4.8 : 1/3 型 CCD 撮像面の幅 [mm]

W : 被写体の幅 [m]

H : 被写体の高さ [m]

L : 被写体までの距離 [m]

f : レンズの焦点距離 [mm]

注) 計算で得られた f 値に合致しない場合、計算値の焦点距離より短い焦点距離（広角側）のレンズを選定します。

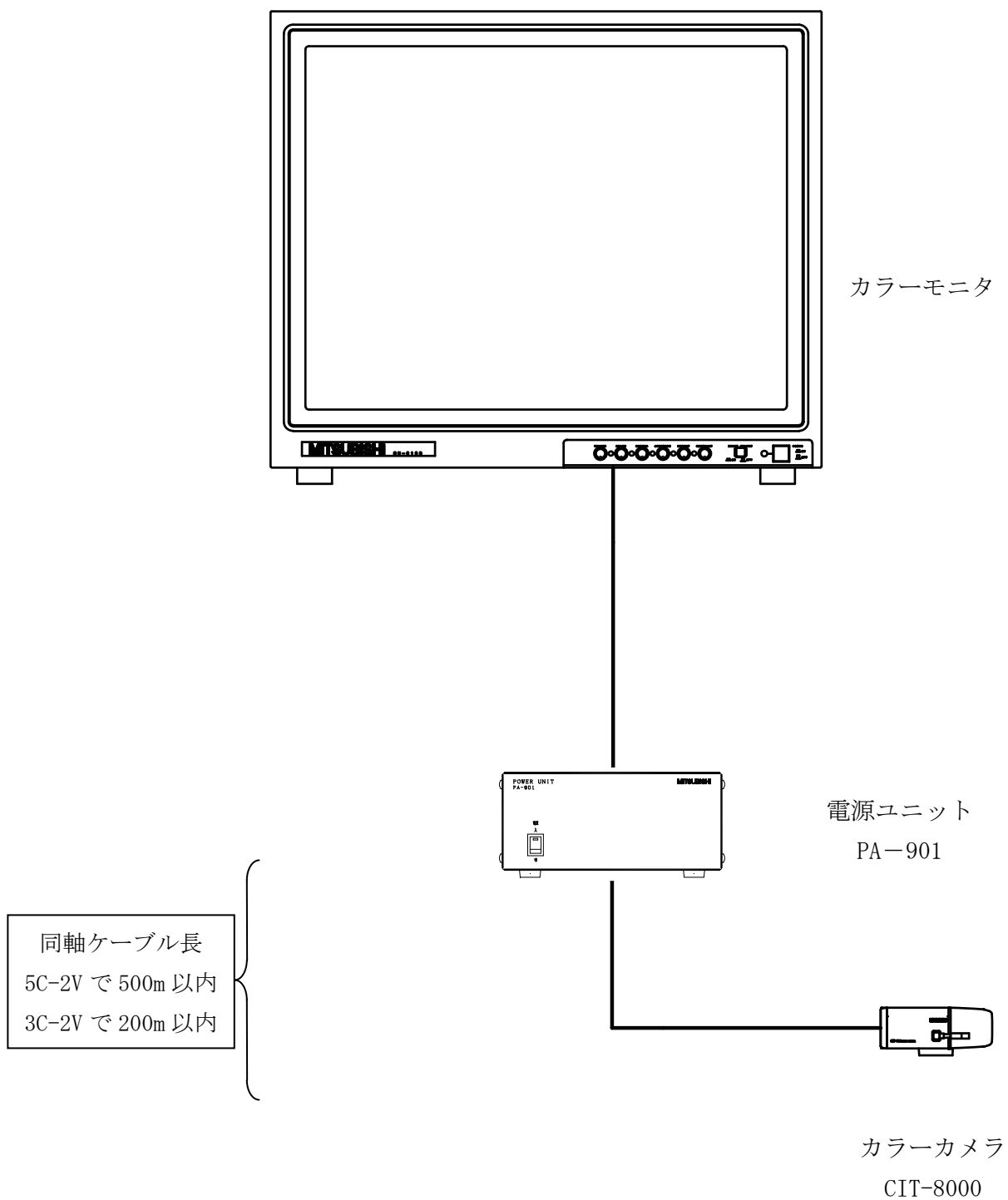
例) 4m(L)先にいる身長 1.8m(H)の人物を画面いっぱいに撮像できるレンズ焦点距離を求めます。

$$f = \frac{3.6 \times 4}{1.8} = 8 [\text{mm}]$$

最適レンズは $f = 8 [\text{mm}]$ となります。

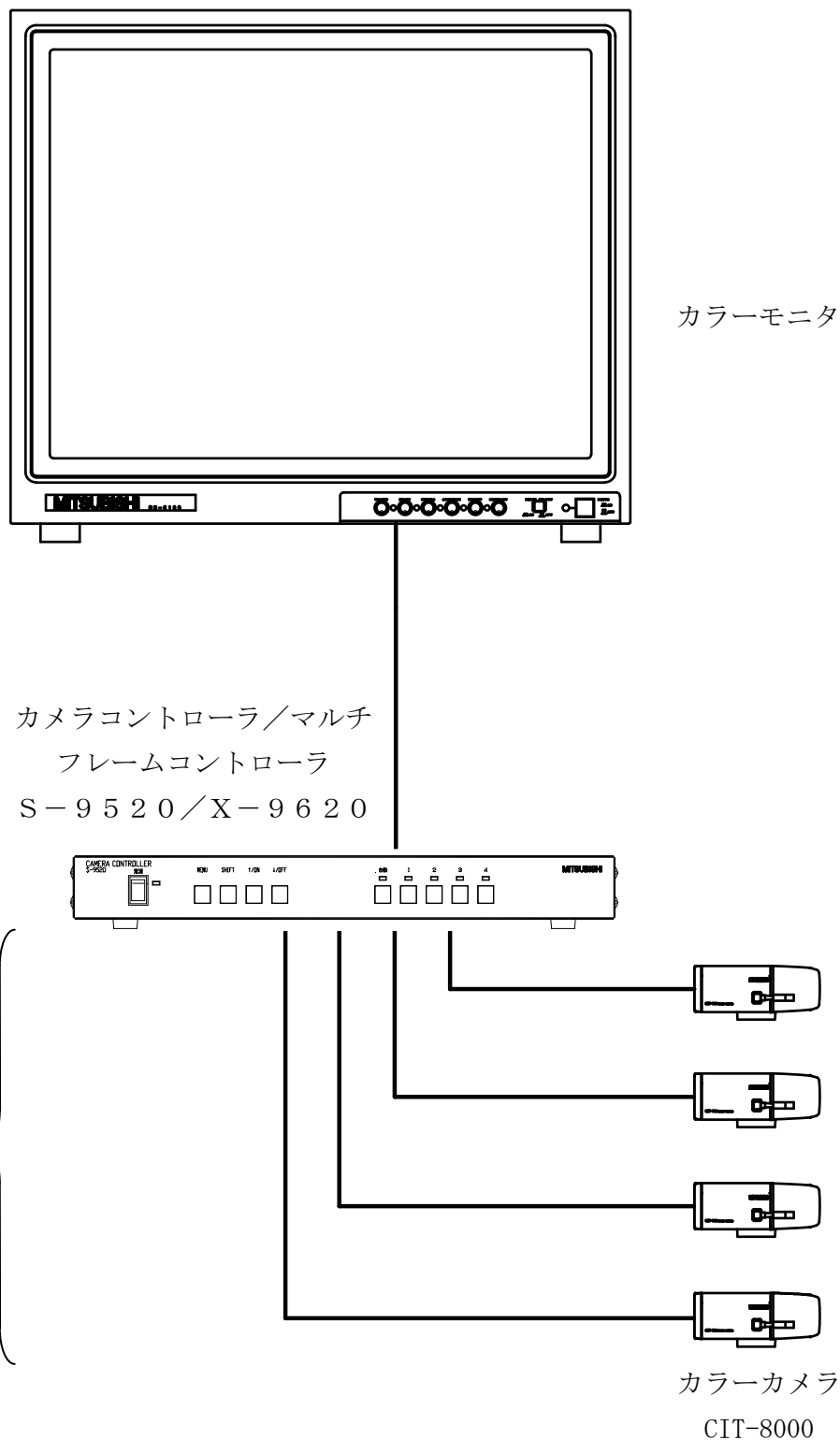
接続のしかた

[カメラ1台を接続する場合]

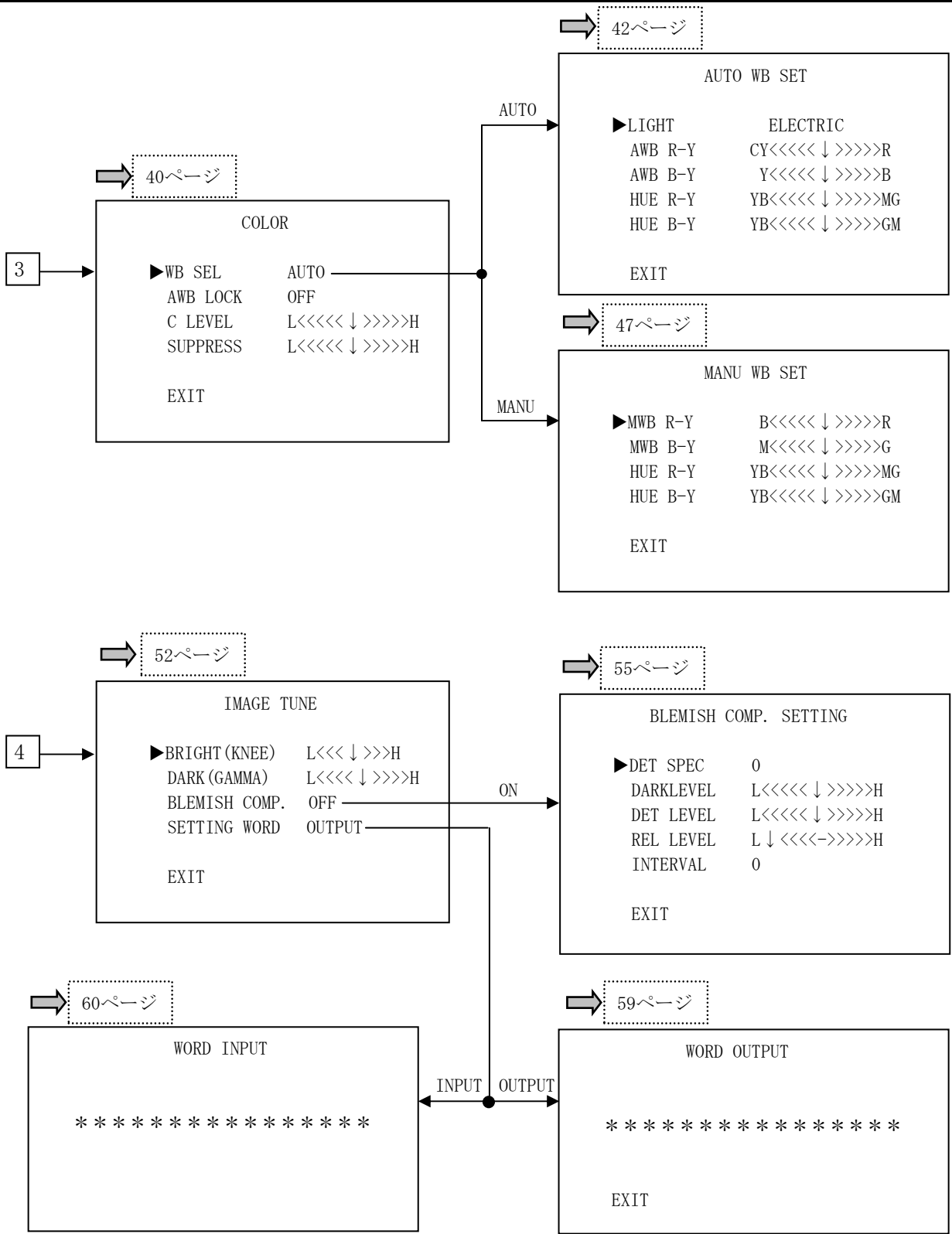


- カメラと電源ユニット間は 5C-2V (3C-2V) の場合、500m (200m) 以内で接続してください。最大ケーブル長を超えて接続すると、電源の供給等が行えなくなります。
 - カメラと電源ユニット間には、他の機器を接続しないでください。
-

[カメラ4台を接続する場合]



- カメラとカメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどの間は 5C-2V(3C-2V)の場合、500m(200m)以内で接続してください。最大ケーブル長を超えて接続すると、電源の供給、同軸ワイドラインを通じての制御等が行えなくなります。
- カメラとカメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどの間には、他の機器を接続しないでください。電源の供給と通信ができなくなります。



注：モード、アップ、ダウンスイッチの入力が約1分間無い場合、自動的に設定メニューは終了します。このとき表示されていた画面の設定は記憶されません。記憶させる場合はモードスイッチを押してください。

■ 工場出荷時設定

工場出荷時には、各設定項目は以下のように設定されています。工場出荷時の状態に設定を戻すときは、「INITIAL」メニュー (P.24) で設定してください。

1. SYSTEM

H SYNC	0M
ID DISP	OFF
ID SET	--CIT-8000--
ID PLACE	中央下⑤
MIC	OFF
INITIAL	EXIT

2. Y CONTROL

IRIS SEL	NORMAL
WIDTH H	9
WIDTH V	9
LOCATE H	4
LOCATE	4
SHUTTER (MGC)	1/60
MGC LEVEL	0 (表示中央)
IRIS LEVEL	0 (表示中央)
GAIN SEL	AGC
SHUTTER (AGC)	1/60
AGC LEVEL	0 (表示中央)
MAX AGC	+12 (表示右端)
AGC BOOST	OFF
FLICKER	OFF
DETAIL	0 (表示中央)
EXDETAIL	0 (表示中央)

3. COLOR

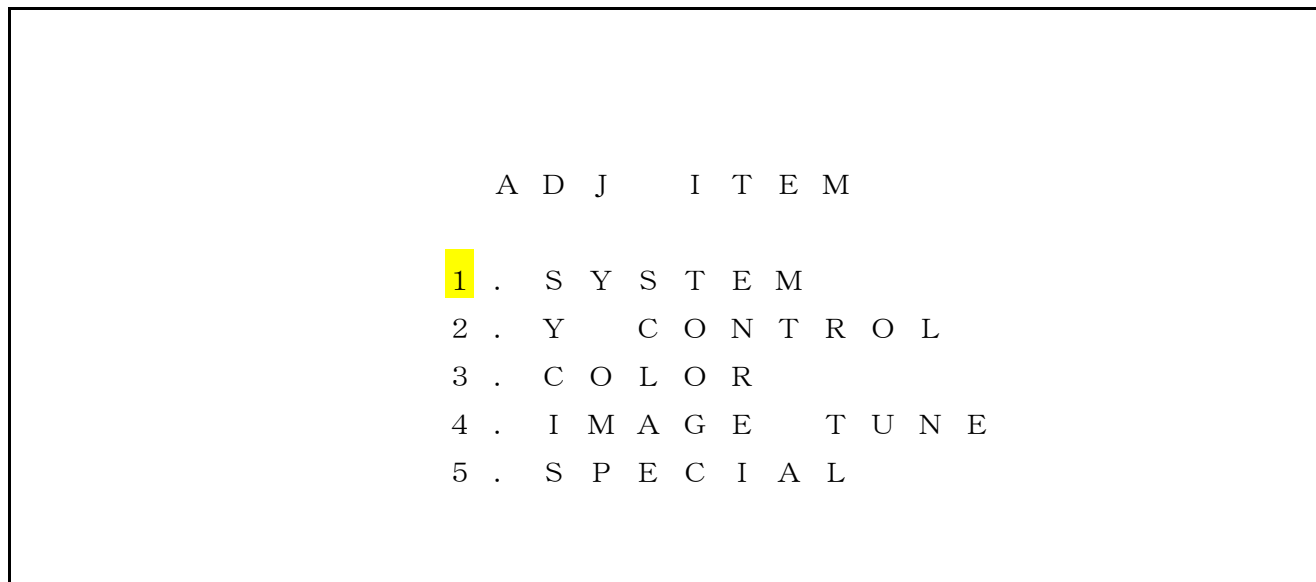
WB SEL	AUTO
LIGHT	ELECTRIC
AWB R-Y	0 (表示中央)
AWB B-Y	0 (表示中央)
HUE R-Y (AWB)	+12 (表示中央)
HUE B-Y (AWB)	+12 (表示中央)
MWB R-Y	0 (表示中央)
MWB B-Y	0 (表示中央)
HUE R-Y (MWB)	+12 (表示中央)
HUE B-Y (MWB)	+12 (表示中央)
AWB LOCK	OFF
C LEVEL	+12 (表示中央)
SUPPRESS	+12 (表示中央)

4. IMAGE TUNE

BRIGHT (KNEE)	0 (表示中央)
DARK (GAMMA)	0 (表示中央)
BLEMISH COMP.	OFF
DET SPEC	0
DARK LEVEL	0 (表示中央)
DET LEVEL	0 (表示中央)
REL LEVEL	-5 (表示左端)
INTERVAL	0
SETTING WORD	OUTPUT
WORDINPUT	1111111111111111

設定メニュー画面／「ADJ ITEM」メニュー

- カメラ背面にありますモードスイッチを押すと、下記の「ADJ ITEM」メニューが表示され、現在の選択されているアイテム番号が反転します。外部接続のカメラコントローラから下記の設定アイテム画面を表示する場合は、カメラコントローラの取扱説明書をご参照ください。



アップ、ダウンスイッチでアイテム番号を選択後、モードスイッチを押すと、アイテム内部の各メニューへ遷移します。

外部接続のカメラコントローラから設定する場合、モード、アップ、ダウンスイッチは下記の通り対応します。詳しくはカメラコントローラの取扱説明書をご参照ください。

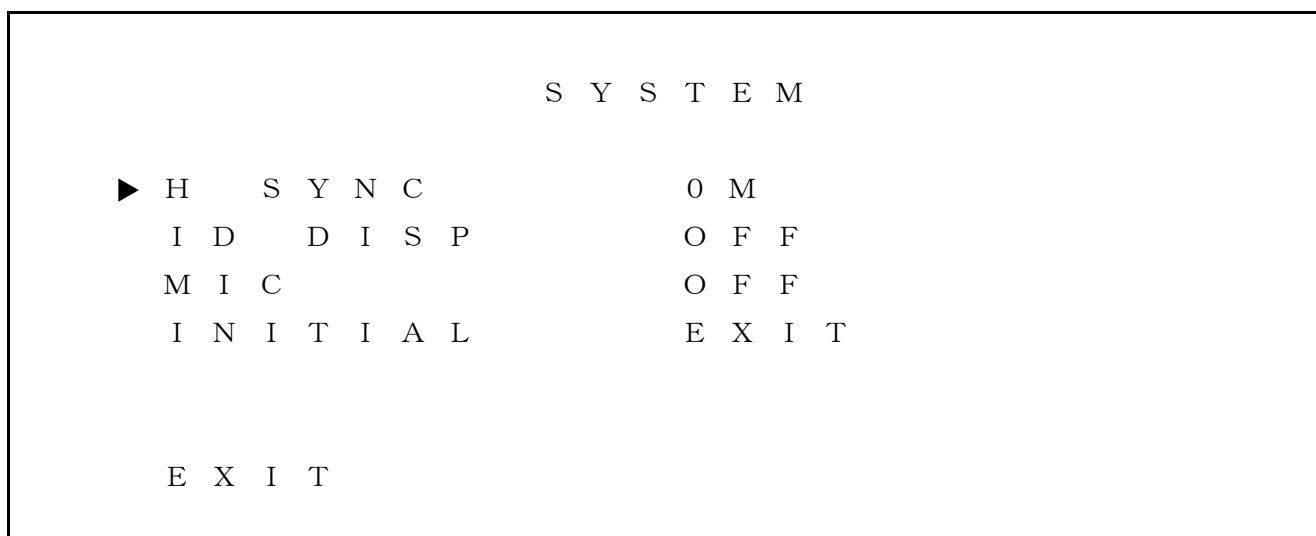
モード	MODE ●	SHIFT
アップ	UP ●	↑/ON
ダウン	DOWN ●	↓/OFF

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

1. SYSTEM (カメラの諸設定) → 18ページ
2. Y CONTROL (輝度の設定) → 25ページ
3. COLOR (色彩の設定) → 40ページ
4. IMAGE TUNE (画質の設定) → 52ページ

SYSTEM 画面

「ADJ ITEM」メニュー（17ページ）で「1.SYSTEM」を選択すると、下記の画面が表示されます。



UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

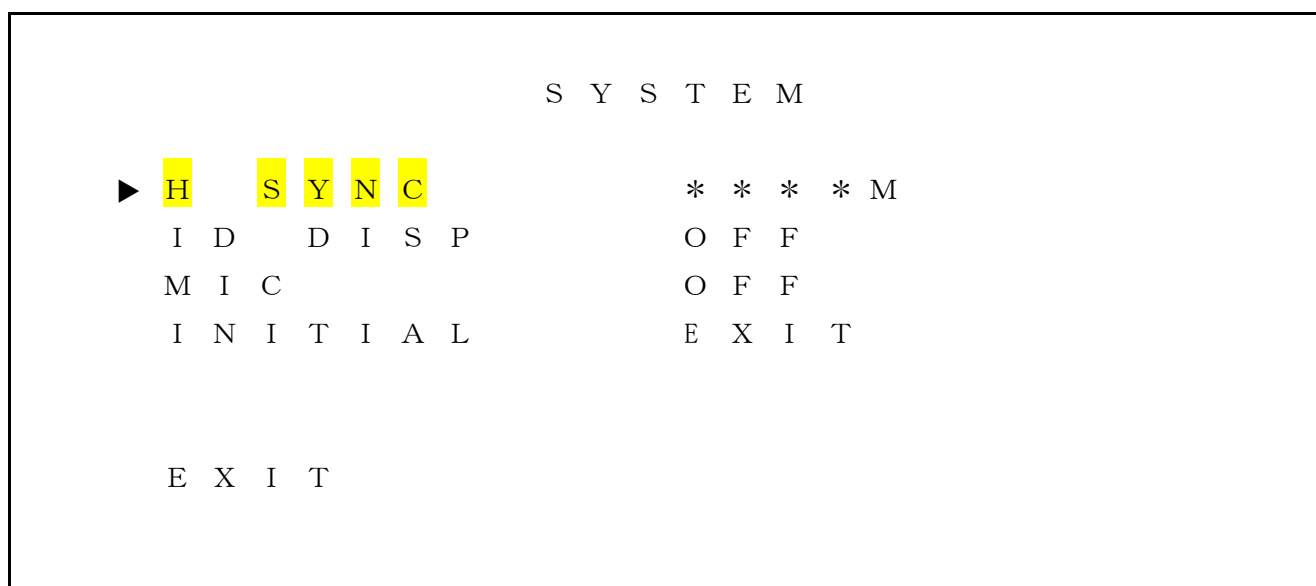
この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

H SYNC（同期位相の設定）	→ 19ページ
ID DISP（カメラ ID の表示設定）	→ 20ページ
MIC（マイクの選択）	→ 24ページ
INITIAL（初期化の選択）	→ 24ページ

同期位相の設定 / 「H SYNC」メニュー

「1. SYSTEM」メニュー（18ページ）で「H SYNC」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

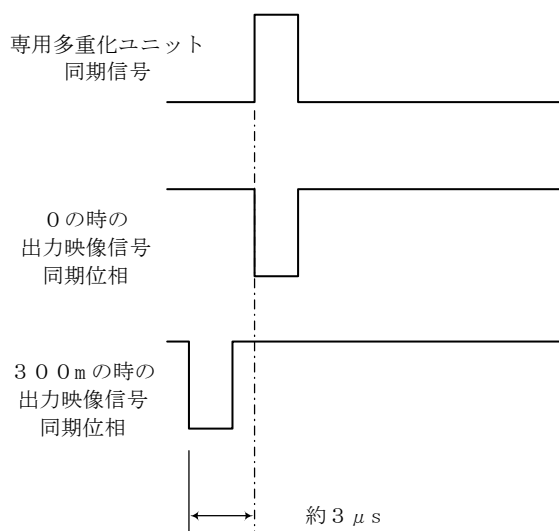


専用コントローラ、カメラ間の接続距離に応じて同期位相を調整します。

* * * *の位置に0~1200の数字が50ステップで表示されます。0の時、専用多重化ユニット同期信号に対し出力映像信号の同期位相がほぼ一致し、+方向では位相が進みます。50につき約 $0.5 \mu \text{sec}$ 位相が可変します。（例）接続距離=300m : 300を設定。

スイッチ説明

- UP : * * * *を0→1200まで50ずつUPします。
- DOWN : * * * *を1200→0まで50ずつDOWNします。
- MODE : 設定値を記憶し、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ



注：上図は概念図であり、実際の波形とは異なります。

カメラ ID 表示の選択 / 「ID DISP」メニュー

「1. SYSTEM」メニュー（18ページ）で「ID DISP」を選択します。

画面に最大 12 文字までの ID（任意の文字列）を表示することができます。

各設定内容は下記の通りです。

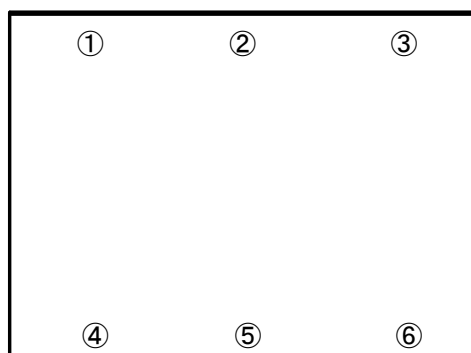
ON	ID を画面に表示します。
OFF	ID の表示を行いません。

スイッチ説明

- / ●^{UP} / ●^{DOWN} : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に・・・→「ON」→「OFF」→「ON」→・・・と遷移します。
- ^{MODE} : 「OFF」表示時、設定を記憶し「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ
「ON」表示時、設定を記憶し「ID」メニューに遷移します。→21ページへ

[文字表示機能について]

- CIT-8000 は最大 12 文字までのカメラ ID 表示（画面上に任意の文字列を表示すること）が可能です。表示位置は 6 カ所（上部左[①]、上部中央[②]、上部右[③]、下部左[④]、下部中央[⑤]、下部右[⑥]）から選択できます。



カメラ ID 表示の設定 / 「ID」メニュー

「ID DISP」メニュー（20ページ）で「ON」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

H SYNC	ON	
▶ ID DISP	ON	SET
MIC	OFF	

ID の表示内容、表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

- UP
● / ●
DOWN

 : 反転表示を、ボタン押下毎に・・・→「SET」→「ON」→「SET」・・・と遷移します。
- MODE
●

 : 「ON」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ
 「SET」反転時、「ID SET」項目に遷移します。→22ページへ

カメラ ID の設定 / 「ID SET」メニュー

「ID」メニュー（21ページ）で「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

I D S E T																																						
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ														
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	パ	ピ	プ	ペ	ポ														
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド	バ	ビ	ブ	ベ	ボ	ィ	ェ	ャ	ュ	ョ														
年	月	日	時	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K														
L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	■	→	←	↑	↓	!	?	/	+	-														
=	&	~	()	<	>	:	;	.	•	。	,	"																									
												◀	▶	消	終																							
												>	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	<										

ID の表示内容を設定します。

編集中の文字列（ID）は****部に表示されます（最大 12 文字）。

スイッチ説明

- ^{UP} : 反転文字が右へ遷移します。右端の場合は、左端へ遷移します。
- ^{DOWN} : 反転文字が下へ遷移します。下端の場合は、「終」へ遷移します。
- ^{MODE} : 「終」の場合は、上端へ遷移します。

選択文字が「◀」の場合は、ID 表示の反転部が 1 つ左へ遷移します。

選択文字が「▶」の場合は、ID 表示の反転部が 1 つ右へ遷移します。

選択文字が「消」の場合は、ID 表示の文字を全て空欄にします（オールクリア）。

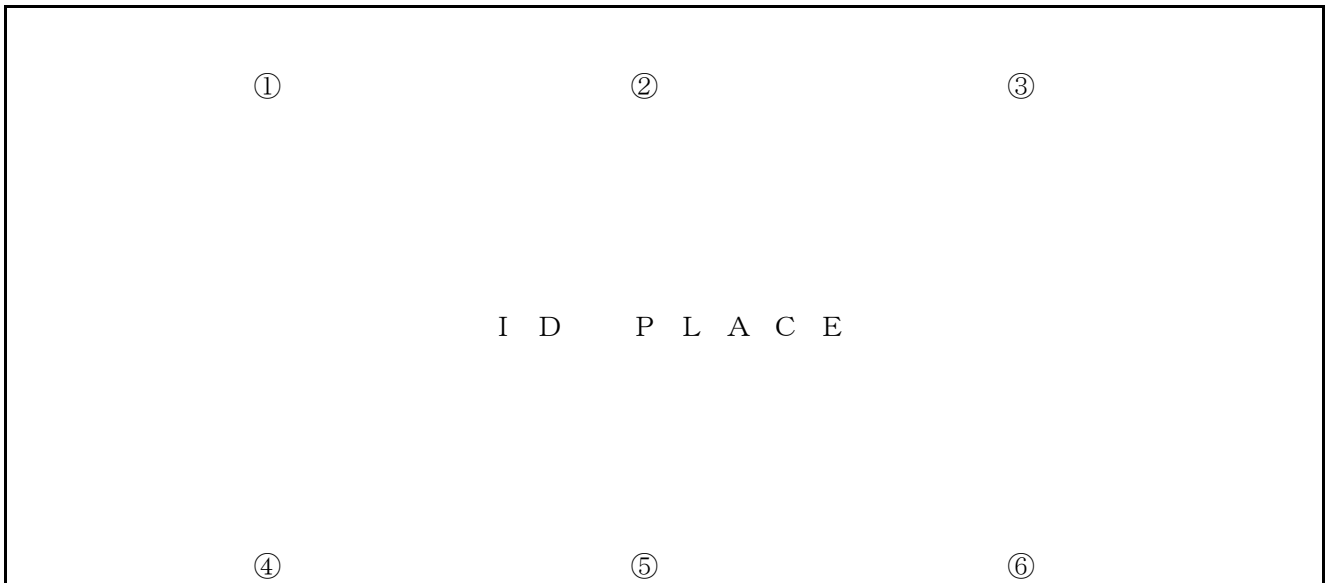
選択文字が「終」の場合は、「ID PLACE」項目に遷移します。→23ページへ

選択文字が上記以外の場合は、選択している文字を ID 表示の反転部に表示し、

ID 表示の反転部が 1 つ右に遷移します。

カメラ ID 表示位置の設定 / 「ID PLACE」項目

「ID SET」メニュー（22ページ）で“終”を選択すると、下記の画面が表示されます。



ID の表示位置を設定します。

スイッチ説明

- ^{UP} : ID 表示位置を…→①→②→③→④→⑤→⑥→①→…と遷移します。
- ^{DOWN} : ID 表示位置を…→①→⑥→⑤→④→③→②→①→…と遷移します。
- ^{MODE} : 「ID」メニューから遷移した場合、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

※ID 表示は、文字の中央位置が①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥の位置に設定されます。

マイクの選択 / 「MIC」メニュー

「1. SYSTEM」メニュー（18ページ）で「MIC」を選択します。

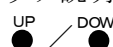

内蔵マイクについての設定を行います。

各設定内容は下記の通りです。

ON	内蔵マイクが有効になります。
OFF	内蔵マイクが無効になります。

注) 使用していない場合は「OFF」を選択してください。電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなどに音声カード（別売）を使用しない場合は音声を使用できません。

スイッチ説明

-  : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」・・・と遷移します。
 : 設定を記憶し、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

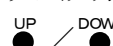

初期化の選択 / 「INITIAL」メニュー

「1. SYSTEM」メニュー（18ページ）で「INITIAL」を選択します。

初期化の選択を行います。

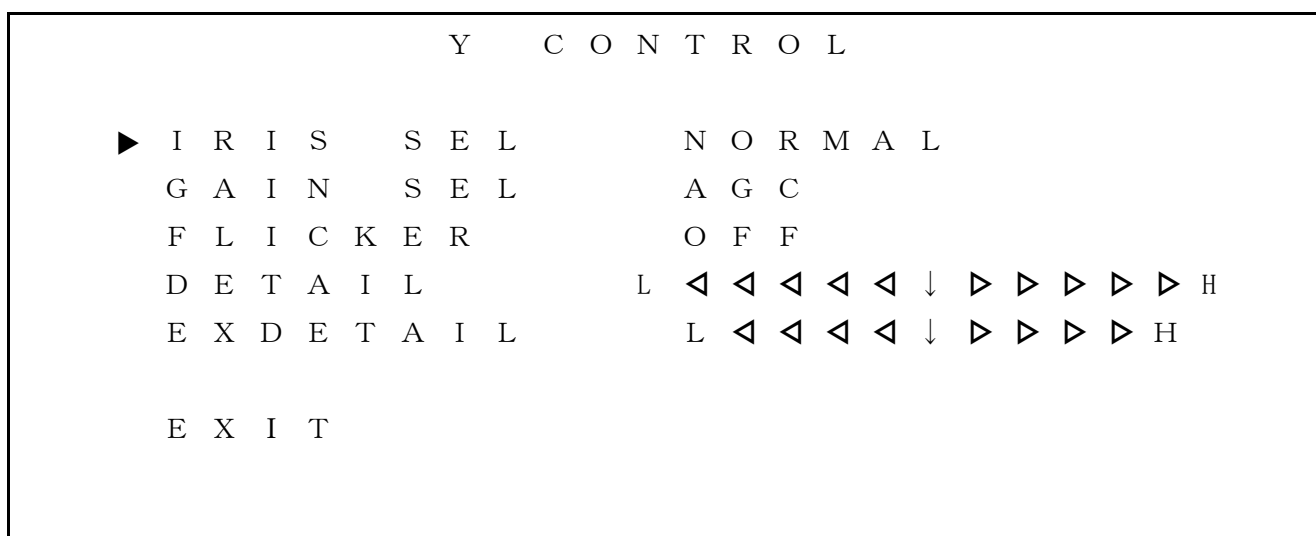
START	各メニューの設定内容を工場出荷設定（P. 16）に初期化します。
EXIT	何も処理せずに「1. SYSTEM」メニュー（P. 18）ページに戻ります。

スイッチ説明

-  : 「EXIT」の表示を、ボタン押下毎に「START」→「EXIT」→「START」・・・と遷移します。
 : 「START」表示時、メニュー各設定値をクリアして「1. SYSTEM」メニューに戻ります。
 「EXIT」表示時、何も処理せずに「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

Y CONTROL 画面

「ADJ ITEM」メニュー（17ページ）で「2.Y CONTROL」を選択したとき下記画面が表示されます。



UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

IRIS SEL (アイリスモードの選択)	→ 26ページ
GAIN SEL (ゲインコントロールの選択)	→ 30ページ
FLICKER (フリッカ補正機能の選択)	→ 38ページ
DETAIL (画質の調整)	→ 39ページ
EXDETAIL (解像度の調整)	→ 39ページ

アイリスモードの選択 / 「IRIS SEL」メニュー

「2.Y CONTROL」メニュー（25ページ）で「IRIS SEL」を選択します。

アイリスの設定を行います。

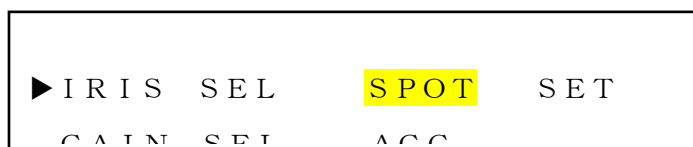
NORMAL	標準の撮像条件です。画面全体の平均光量により明るさが制御されます。
SPOT	逆光条件、過順光の時使用します。次メニューで設定した測光枠内の信号レベルが最適になるようアイリス、AGC等が制御されます。

スイッチ説明

- / ●^{UP / DOWN} : 反転表示を「NORMAL」→「SPOT」→「NORMAL」→・・・と遷移します。
- ^{MODE} : 「NORMAL」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→25ページへ
「SPOT」表示時、設定を記憶し「SPOT」メニューに遷移します。→26ページへ

逆行補正の設定 / 「SPOT」メニュー

「IRIS SEL」メニューで「SPOT」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



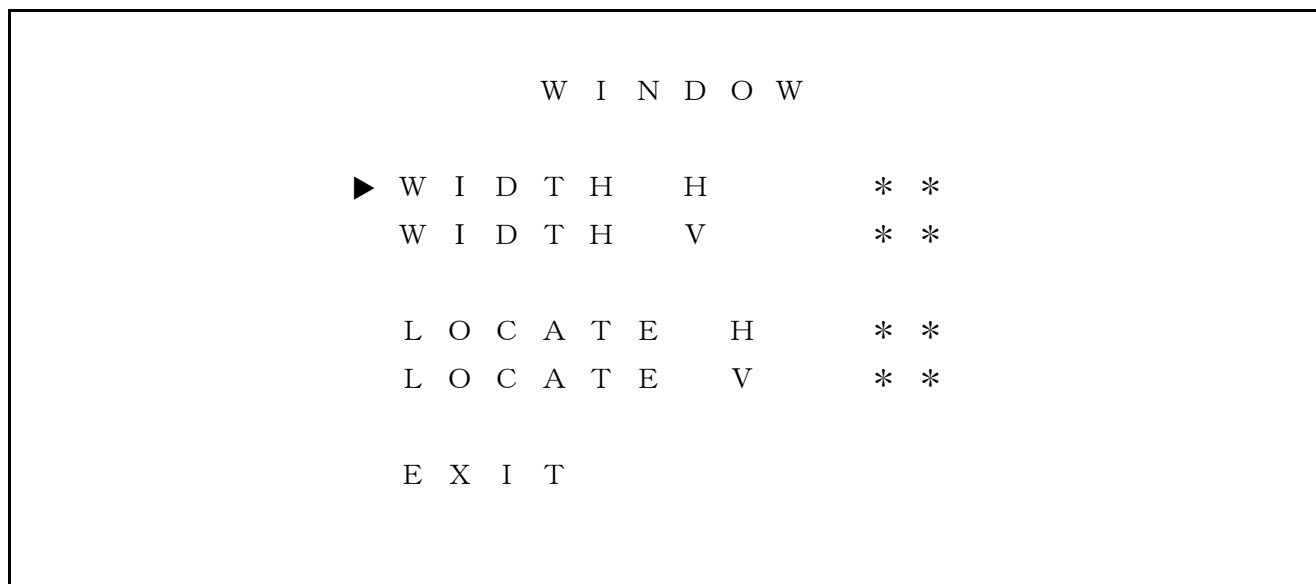
逆光補正用測光枠の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

- / ●^{UP / DOWN} : 反転表示を「SPOT」→「SET」→「SPOT」・・・と遷移します。
- ^{MODE} : 「SPOT」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→25ページへ
「SET」反転時、「WINDOW」メニューに遷移します。→27ページへ

測光枠のサイズ、位置設定 / 「WINDOW」メニュー

「SPOT」メニュー（26ページ）で「SET」を選択すると、下記画面が表示され、画面上に測光枠が明るく表示されます。



各項目にて測光枠のサイズ、位置を設定します。詳しくは、「逆光補正用測光枠について（P.28）」をご参照ください。

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→25ページへ

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。


WIDTH H	（水平方向の枠サイズ設定）	→	29ページ
WIDTH V	（垂直方向の枠サイズ設定）	→	29ページ
LOCATE H	（水平方向の枠位置設定）	→	29ページ
LOCATE V	（垂直方向の枠位置設定）	→	29ページ

[逆光補正用測光枠について]

- 逆光補正用の測光枠は画面上の 15（水平） X15（垂直）に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」では測光枠の右下角を移動して大きさを、「LOCATE」では測光枠の左上角を移動して測光枠の位置を設定します。

測光枠設定例（画面上にはマスや位置番号は表示されません。）

	水 平														
位置番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

設定エリア : （画面上では明るく表示されます。）

例 : サイズ設定（水平、垂直） = （9,9）
位置設定（水平、垂直） = （5,5）

※設定項目「WIDTH」、「LOCATE」設定中は、設定値の増減と連動して設定エリアが明るく表示されます。

水平方向の測光枠サイズ設定／「WIDTH H」項目

水平方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

- ^{UP} : WIDTH H の**が 1→15 まで変化します。
- ^{DOWN} : WIDTH H の**が 15→1 まで変化します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→27ページへ

垂直方向の測光枠サイズ設定／「WIDTH V」項目

垂直方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

- ^{UP} : WIDTH V の**が 1→15 まで変化します。
- ^{DOWN} : WIDTH V の**が 15→1 まで変化します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→27ページへ

水平方向の測光枠位置設定／「LOCATE H」項目

水平方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

- ^{UP} : LOCATE H の**が 1→15 まで変化します。
- ^{DOWN} : LOCATE H の**が 15→1 まで変化します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→27ページへ

垂直方向の測光枠位置設定／「LOCATE V」項目

垂直方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

- ^{UP} : LOCATE V の**が 1→15 まで変化します。
- ^{DOWN} : LOCATE V の**が 15→1 まで変化します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→27ページへ

ゲインコントロールの選択／「GAIN SEL」メニュー

「2. Y CONTROL」メニュー（25ページ）で「GAIN SEL」を選択します。

ゲインの値を自動で変化させるか手動で調整するかを選択することができます。

AGC	明るさに応じてゲインの値が自動的に変化します。
MGC	ゲインの値を手動で調整します。

スイッチ説明

- / ●^{UP} / ●^{DOWN} : 「AGC」の表示を、ボタン押下毎に「MGC」→「AGC」→「MGC」・・・と遷移します。
- ^{MODE} : 「MGC」表示時、設定を記憶し「MGC」メニューに遷移します。→30ページ
「AGC」表示時、設定を記憶し「AGC」メニューに遷移します。→34ページ

マニュアルゲインコントロール（MGC）の設定／「MGC」メニュー

「GAIN SEL」メニューで「MGC」を選択すると、下記の画面のように右側に「SET」が表示されます。

IRIS SEL	NORMAL	
▶ GAIN SEL	MGC	SET
Flicker	OFF	

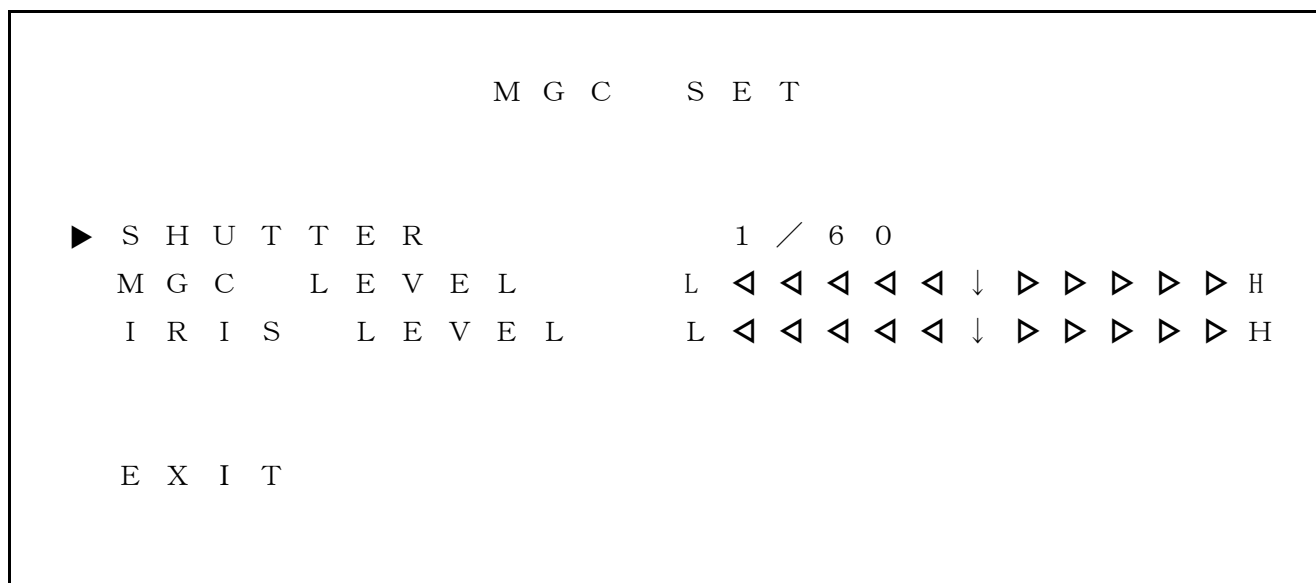
MGCの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

- / ●^{UP} / ●^{DOWN} : 反転表示を「MGC」→「SET」→「MGC」・・・と遷移します。
- ^{MODE} : 「MGC」反転時、「2. Y CONTROL」メニューに戻ります。→25ページへ
「SET」反転時、「MGC SET」メニューに遷移します。→31ページへ

MGC の詳細設定項目 / 「MGC SET」メニュー

「MGC」メニュー（30ページ）で「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。→25ページへ

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SHUTTER（シャッター速度の設定）→ 32ページ

MGC LEVEL（MGC レベルの設定）→ 33ページ

IRIS LEVEL（アイリスの設定）→ 33ページ

MGC 時シャッタ速度の設定 / 「SHUTTER」項目

「MGC SET」メニュー（31ページ）で「SHUTTER」を選択します。

MGC 時シャッタ速度を設定することができます。（単位：秒）

スイッチ説明

- ^{UP} : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
 …→「1/100」→「1/250」→「1/500」→「1/1000」→「1/2000」→「1/4000」→「1/10000」
 →「1/60」
- ^{DOWN} : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
 …→「1/10000」→「1/4000」→「1/2000」→「1/1000」→「1/500」→「1/250」→「1/100」
 →「1/60」
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「MGC SET」メニューに戻ります。→31ページへ

注) 「FLICKER」メニュー（38ページ参照）で「ON」が選択されている場合、「1/100」固定となります。

[高速シャッタについて]

- 高速シャッタを使用する場合は下記の注意が必要です。
 - (1) シャッタ速度が速くなるほど十分な光量を必要とします。（相対的な感度が低下します。）
 - (2) 50Hz 電源地区における放電灯照明下でフリッカが気になる場合は、「FLICKER」メニュー（38ページ）を「ON」にする、もしくは1/100 s シャッタを選択することでフリッカを抑圧できます。
 - (3) 50Hz 電源地区における放電灯照明下または高周波点灯照明下では 1/250 s 以上の高速シャッタは激しいフリッカを発生しますのでご注意ください。
 - (4) 高輝度被写体に対して露出調節のために超高速シャッタで長期間使用することはお避けください。CCD のカラーフィルタの退色により色再現性が劣化する場合があります。
 - (5) 60Hz 電源地区における放電灯照明下で高速シャッタを使用するとゆっくりとした光量変化を生じます。このため画面に周期的な S/N の変動および色の変化が発生しますのでご注意ください。

MGC レベルの設定／「MGC LEVEL」項目

「MGC SET」メニュー（31ページ）で「MGC LEVEL」を選択します。

ゲインの設定を行うことができます。

H方向	ゲインが大きくなります。
L方向	ゲインが小さくなります。

注) ゲインを大きく設定すると、被写体によっては画像がハンチングを起こす場合があります。
ゲインを小さく設定すると、暗い時に映像が見づらい場合があります。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。→31ページへ

アイリスの設定／「IRIS LEVEL」項目

「MGC SET」メニュー（31ページ）で「IRIS LEVEL」を選択します。

MGC 設定時のアイリスの開き具合を設定することができます。

H方向	アイリスを開放し、画面が明るくなります。
L方向	アイリスを絞り、画面が暗くなります。

注) IRIS LEVEL 設定がLかHに極端に片寄ると、被写体によっては、アイリスが開かなかつたり、画面がハンチングを起こす場合があります。また、急激に光量に変化したときには、アイリスが追従して映像が見えるまでに時間が掛かる場合があります。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。→31ページへ

オートゲインコントロール (AGC) の設定 / 「AGC」メニュー

「GAIN SEL」メニュー（30ページ）で「AGC」を選択すると、下記の画面のように右側に「SET」が表示されます。

IRIS SEL	NORMAL	
▶ GAIN SEL	AGC	SET
FLICKER	OFF	

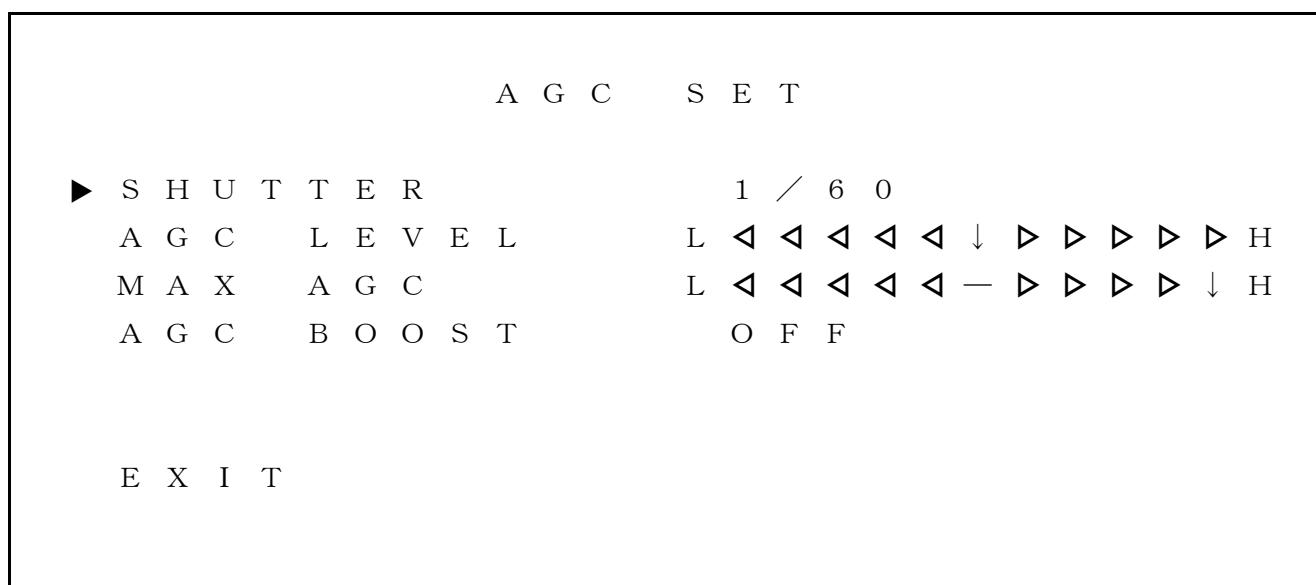
AGCの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

- / ●^{UP} / ●^{DOWN} : 反転表示を「AGC」→「SET」→「AGC」・・・と遷移します。
- ^{MODE} : 「AGC」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→25ページへ
「SET」反転時、「AGC SET」メニューに遷移します。→35ページへ

AGC の詳細設定項目 / 「AGC SET」メニュー

「AGC」メニュー（34ページ）で「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。→25ページへ

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SHUTTER	（シャッター速度の設定）	→ 36ページ
AGC LEVEL	（画面の明るさの調整）	→ 36ページ
MAX AGC	（最大ゲインレベルの設定）	→ 37ページ
AGC BOOST	（ゲインレベルアップの選択）	→ 37ページ

AGC 時シャッタ速度の選択／「SHUTTER」項目

「AGC SET」メニュー（35ページ）で「SHUTTER」を選択します。

AGC 時シャッタ速度を選択することができます（単位：秒）。

スイッチ説明

- ^{UP} : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に…→「1/100」→「1/250」→「1/500」→「1/1000」→「1/2000」→「1/4000」→「1/10000」→「1/60」…と遷移します。
- ^{DOWN} : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に「1/10000」→「1/4000」→「1/2000」→「1/1000」→「1/500」→「1/250」→「1/100」→「1/60」…と遷移します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→35ページへ

注) 「FLICKER」メニュー（38ページ参照）で「ON」が選択されている場合、「1/100」固定となります。

画面の明るさの調整／「AGC LEVEL」項目

「AGC SET」メニュー（35ページ）で「AGC LEVEL」を選択します。

画面の明るさを調整することができます。

H方向	画面が明るくなります。
L方向	画面が暗くなります。

注) AGC レベルがLかHに極端に片寄ると、被写体によってはアイリスが開かなかつたり、画面がハンチングを起こす場合があります。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。→35ページへ

AGC 最大ゲインレベルの設定 / 「MAX AGC」 項目

「AGC SET」メニュー（35ページ）で「MAX AGC」を選択します。

最大ゲインレベルの設定を行います。

H 方向	最大ゲインレベルが上がります。
L 方向	最大ゲインレベルが下がります。

注) 最大ゲインレベルが高い場合は画面が明るくなりますが、ノイズが増えます。
低照度時のノイズが気になる場合は、L 方向へ下げてください。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。→35ページへ

ゲインレベルアップの選択 / 「AGC BOOST」 項目

「AGC SET」メニュー（35ページ）で「AGC BOOST」を選択します。

ゲインレベルアップの設定を行います。高感度の必要な場合は「+6DB」で使用してください。

+6DB	最大ゲインレベルがさらに2倍上がります。
OFF	AGC BOOST 機能を使用しません。

注) AGC BOOST を「+6DB」に設定すると、低照度時にノイズが目立つ場合があります。
低照度時のノイズが気になる場合は、OFF に設定してください。

スイッチ説明

- ^{UP} / ●^{DOWN} : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「+6DB」→「OFF」→「+6DB」→・・・と遷移します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→35ページへ

フリッカ補正機能の選択 / 「FLICKER」メニュー

「2.Y CONTROL」メニュー（25ページ）で「FLICKER」を選択します。

フリッカ補正機能の設定を行います。詳しくは下記「フリッカについて」をご参照ください。

ON	画面全体のチラツキ（フリッカ）をなくします。
OFF	フリッカ補正機能を使用しません。

注) FLICKER 設定が「ON」の場合は、シャッタースピードの変更はできません（1/100 固定）。

スイッチ説明

- / ●^{UP} / ●^{DOWN} : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」→…と遷移します。
- ^{MODE} : 設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→25ページへ

[フリッカについて]

フリッカ（ちらつき）は蛍光灯のような放電灯照明下で発生します。自然光下や白熱照明下では発生しません。

フリッカの現象は電源周波数とシャッタ速度により下記のように異なります。

◆ 60Hz 電源地区での場合

- 1/60 s シャッタ
電源周波数と CCD の電荷蓄積時間がほぼ一致しており、フリッカは発生しません。
- 高速シャッタの場合
ゆっくりとした輝度変化が発生します。シャッタ速度が速くなるほど輝度変化の割合は大きくなります。

◆ 50Hz 電源地区での場合

- 1/60 s シャッタ
約 20Hz 周期のフリッカが発生します。放電灯照明下でのフリッカを防ぐには、「FLICKER」メニューの設定を「ON」、もしくは 1/100s シャッタにしてご使用ください。
- 1/100 s シャッタ
フリッカは発生しません。感度が低下しますので低照度時にはご注意ください。
「FLICKER」設定「ON」と同等です。
- 1/250 s 以上の高速シャッタ
かなり激しいフリッカが発生します。高速シャッタが必要な場合には自然光または白熱点灯照明をご使用ください。

画質の調整 / 「DETAIL」メニュー

「2. Y CONTROL」メニュー（25ページ）で「DETAIL」を選択します。

画質の調整を行います。

H方向	画質がシャープになります。
L方向	画質がソフトになります。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「2. Y CONTROL」メニューへ戻ります。→25ページへ

解像度の調整 / 「EXDETAIL」メニュー

「2. Y CONTROL」メニュー（25ページ）で「EXDETAIL」を選択します。

解像度の調整を行います。

H方向	解像度が高くなります。
L方向	通常の画質になります。

注) EX DETAIL を H 側に設定した場合、輪郭のエッジが強調されます。

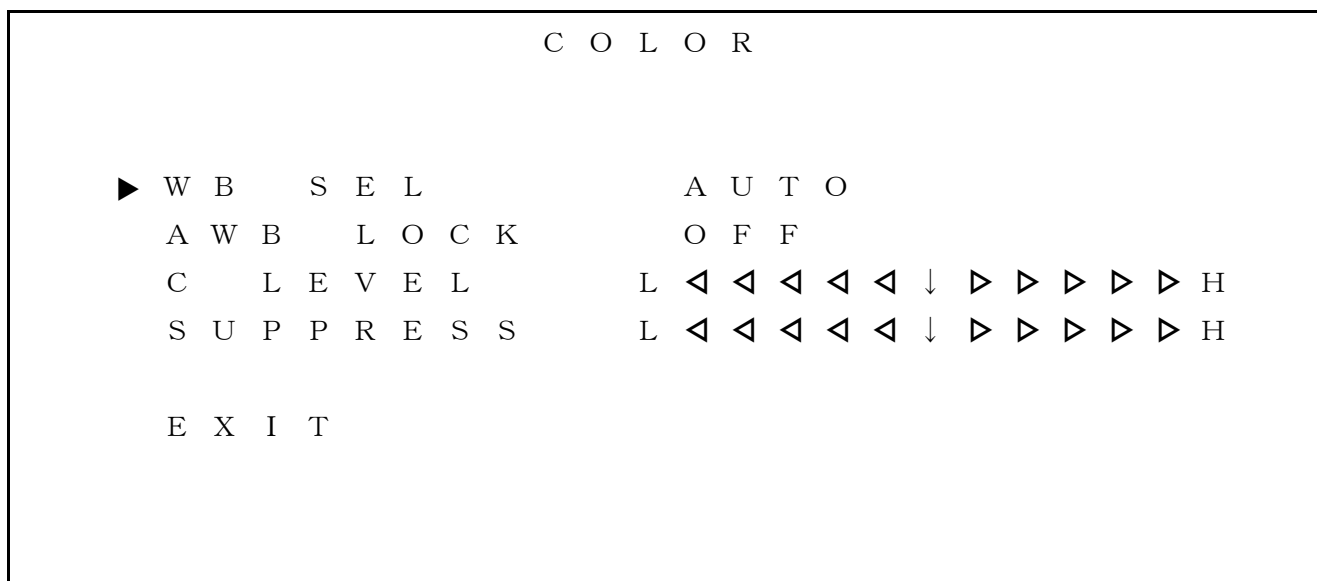
エッジ強調が気になる場合は、L 側に設定してください。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「2. Y CONTROL」メニューへ戻ります。→25ページへ

COLOR 画面

「ADJ ITEM」メニュー（17ページ）で「3. COLOR」を選択したとき、下記の画面が表示されます。



UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。（「WB SEL」メニューで「MANU」を選択している場合、「AWB LOCK」はパスされます。）

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WB SEL	（ホワイトバランスモードの設定）	→	41ページ
AWB LOCK	（ホワイトバランスロックの設定）	→	50ページ
C LEVEL	（濃淡の設定）	→	51ページ
SUPPRESS	（クロマサプレスの設定）	→	51ページ

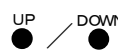

ホワイトバランスモードの設定 / 「WB SEL」メニュー

「3. COLOR」メニュー（40ページ）で「WB SEL」を選択します。

ホワイトバランスモードの選択を行います。

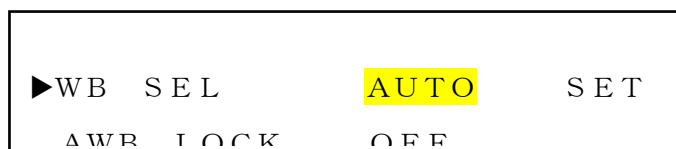
AUTO	自動的にホワイトバランスを合わせます。
MANU	手動でホワイトバランスを調整します。

スイッチ説明

-  : 「AUTO」の表示を、ボタン押下毎に「MANU」→「AUTO」→「MANU」→…と遷移します。
-  : 「AUTO」表示時、設定を記憶し「AUTO」メニューに遷移します。→41ページへ
 「MANU」表示時、設定を記憶し「MANU」メニューに遷移します。→46ページへ

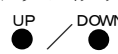

オートホワイトバランス (AWB) の設定 / 「AUTO」メニュー

「WB SEL」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



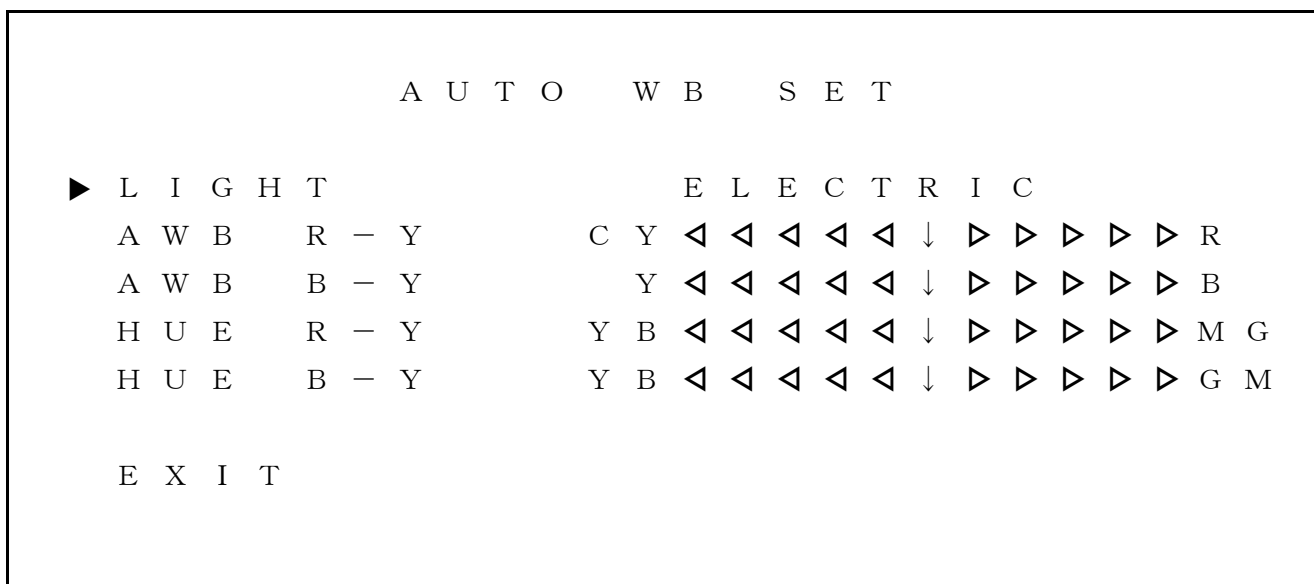
オートホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

-  : 反転表示を「AUTO」→「SET」→「AUTO」→…と遷移します。
-  : 「AUTO」反転時、「3. COLOR」メニューに戻ります。→40ページへ
 「SET」反転時、「AUTO WB SET」メニューに遷移します。→42ページへ

AWB 詳細設定項目 / 「AUTO WB SET」メニュー

「AUTO」メニュー（41ページ）で「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「3. COLOR」メニューに戻ります。→40ページへ

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

LIGHT	（対応照明の選択）	→ 43ページ
AWB R-Y	（赤、シアン方向の AWB 微補正）	→ 44ページ
AWB B-Y	（青、黄方向の AWB 微補正）	→ 44ページ
HUE R-Y	（赤、シアン方向の色彩の設定）	→ 45ページ
HUE B-Y	（青、黄方向の色彩の設定）	→ 45ページ

対応照明の選択／「LIGHT」項目

「AUTO WB SET」メニュー（42ページ）で「LIGHT」を選択します。

対応照明の選択を行います。

NATURAL	自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯に対応します。
ELECTRIC	上記に加え、水銀灯などまで引き込み範囲を拡大します。

スイッチ説明

●^{UP} / ●^{DOWN} : 「ELECTRIC」の表示が、ボタン押下毎に「NATURAL」→「ELECTRIC」→「NATURAL」→
…と遷移します。

●^{MODE} : 設定を記憶し「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→42ページへ

[対応照明の選択「LIGHT」について]

- [NATURAL] は自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯の照明下において最適なホワイトバランスが得られるようにオートホワイトバランスが動作します。引き込み範囲を制限していますので単一色の被写体でも退色現象が少なくなります。
- [ELECTRIC] では、NATURAL の引き込み範囲を水銀灯などまで拡大するとともに、光源の固有スペクトラムにより画面が黄色あるいは緑色っぽくなる現象を補正するようにオートホワイトバランスが動作します。

赤、シアン方向の AWB 微補正 / 「AWB R-Y」項目

「AUTO WB SET」メニュー（42ページ）で「AWB R-Y」を選択します。

赤、シアン方向の AWB 微補正を行います。

R 方向	画面が赤に色調が変わります。
CY 方向	画面がシアンに色調が変わります。

スイッチ説明

- ^{UP} : R 方向に ↓ が移動します。
- ^{DOWN} : CY 方向に ↓ が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→42ページへ

青、黄方向の AWB 微補正 / 「AWB B-Y」項目

「AUTO WB SET」メニュー（42ページ）で「AWB B-Y」を選択します。

青、黄方向の AWB 微補正を行います。

B 方向	画面が青に色調が変わります。
Y 方向	画面が黄色に色調が変わります。

スイッチ説明

- ^{UP} : B 方向に ↓ が移動します。
- ^{DOWN} : Y 方向に ↓ が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→42ページへ




赤、シアン方向の色相の設定／「HUE R-Y」項目

「AUTO WB SET」メニュー（42ページ）で「HUE R-Y」を選択します。

赤、シアン方向の色相の設定を行います。

MG 方向	青色がマゼンダ方向に、黄色が緑色方向に色合いが変わります。
YB 方向	緑色が黄色方向に、マゼンダが青色方向に色合いが変わります。

スイッチ説明

-  : MG 方向に↓が移動します。
-  : YB 方向に↓が移動します。
-  : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→42ページへ




青、黄方向の色相の設定／「HUE B-Y」項目

「AUTO WB SET」メニュー（42ページ）で「HUE B-Y」を選択します。

青、黄方向の色相の設定を行います。

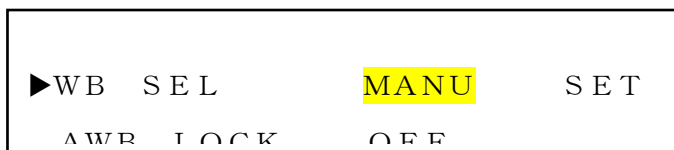
GM 方向	青色が緑色方向に、赤色がマゼンダ方向に色合いが変わります。
YB 方向	赤色が黄色方向に、シアンが青色方向に色合いが変わります。

スイッチ説明

-  : GM 方向に↓が移動します。
-  : YB 方向に↓が移動します。
-  : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→42ページへ

マニュアルホワイトバランス (MWB) / 「MANU」メニュー

「WB SEL」メニュー (41ページ) で「MANU」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



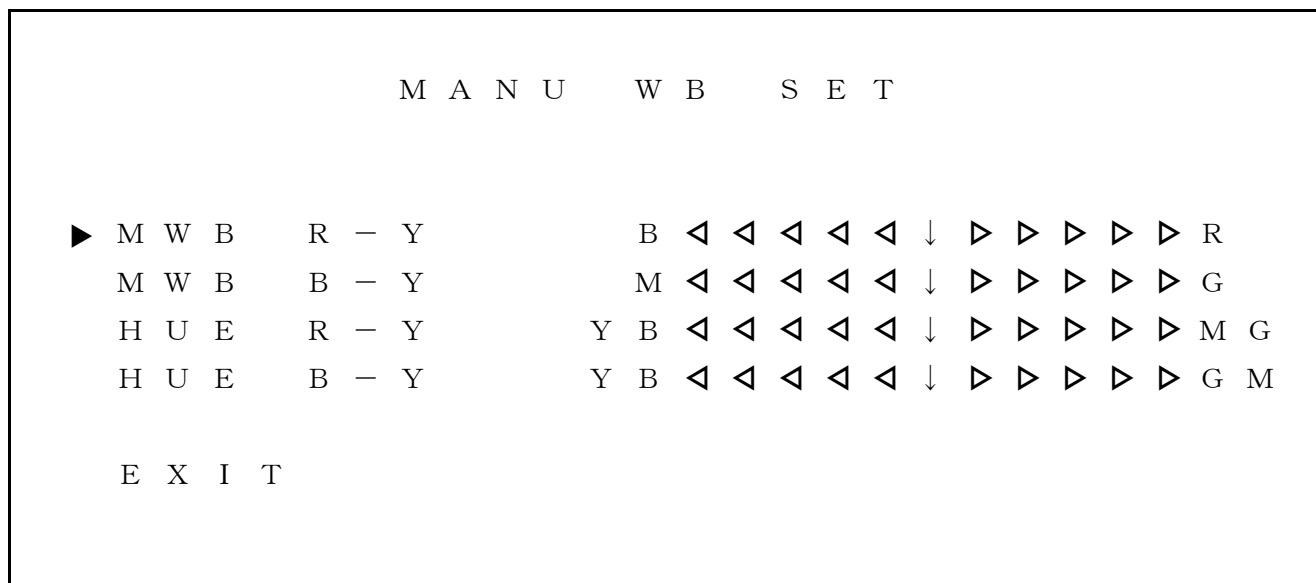
マニュアルホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

- / ●^{UP} / ●^{DOWN} : 反転表示が「MANU」→「SET」→「MANU」→…と遷移します。
- ^{MODE} : 「MANU」反転時、「3. COLOR」メニューに戻ります。→40ページへ
「SET」反転時、「MANU WB SET」メニューに遷移します。→47ページへ

MWB の設定 / 「MANU WB SET」メニュー

「MANU」メニュー（46ページ）で「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「3. COLOR」メニューに戻ります。→40ページへ

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

MWB R-Y（赤、青方向のMWB設定）	→ 48ページ
MWB B-Y（グリーン、マゼンダ方向のMWB設定）	→ 48ページ
HUE R-Y（赤、シアン方向の色相の設定）	→ 49ページ
HUE B-Y（青、黄方向の色相の設定）	→ 49ページ

赤、青方向の MWB 設定 / 「MWB R-Y」項目

「MANU WB SET」メニュー（47ページ）で「MWB R-Y」を選択します。

赤、青方向の MWB の設定を行います。

R 方向	赤方向へ画面の色調が変わります。
B 方向	青方向へ画面の色調が変わります。

スイッチ説明

- ^{UP} : R 方向に ↓ が移動します。
- ^{DOWN} : B 方向に ↓ が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→47ページへ

グリーン、マゼンダ方向の MWB 設定 / 「MWB B-Y」項目

「MANU WB SET」メニュー（47ページ）で「MWB B-Y」を選択します。

グリーン、マゼンダ方向の MWB の設定を行います。

G 方向	グリーン方向へ画面の色調が変わります。
M 方向	マゼンダ方向へ画面の色調が変わります。

スイッチ説明

- ^{UP} : G 方向に ↓ が移動します。
- ^{DOWN} : M 方向に ↓ が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→47ページへ

赤、シアン方向の色相の設定／「HUE R-Y」項目

「MANU WB SET」メニュー（47ページ）で「HUE R-Y」を選択します。

赤、シアン方向の色相の設定を行います。

MG 方向	青色がマゼンダ方向に、黄色が緑色方向に色合いが変わります。
YB 方向	緑色が黄色方向に、マゼンダが青色方向に色合いが変わります。

スイッチ説明

- ^{UP} : MG 方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : YB 方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→47ページへ

青、黄方向の色相の設定／「HUE B-Y」項目

「MANU WB SET」メニュー（47ページ）で「HUE B-Y」を選択します。

青、黄方向の色相の設定を行います。

GM 方向	青色が緑色方向に、赤色がマゼンダ方向に色合いが変わります。
YB 方向	赤色が黄色方向に、シアンが青色方向に色合いが変わります。

スイッチ説明

- ^{UP} : GM 方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : YB 方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→47ページへ

ホワイトバランスロックの設定 / 「AWB LOCK」メニュー

「3. COLOR」メニュー（40ページ）で「AWB LOCK」を選択します。

ホワイトバランスロックの設定を行います。

詳しくは、下記[ホワイトバランスについて]をご参照ください。

ON	現在のホワイトバランスの状態を固定します。
OFF	AWB LOCK 機能を使用しません。

注) 「WB SEL」メニューで「MANU」を選択すると、本メニューはパスされます。

スイッチ説明

- / ●^{UP} / ●^{DOWN} : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」→…と遷移します。
- ^{MODE} : 設定を記憶し「3. COLOR」メニューに戻ります。→40ページへ

[ホワイトバランスについて]

- ホワイトバランス（色調節）は下記の動作モードが選択できます。
 - [AUTO] : 連続自動追従調節（標準モード）
 - [LOCK] : 自動調節後、固定
 - [MANU] : 手動調節
- [AUTO] は自然光のように照明条件（色温度）が時間的に変化するような時に、自動的に色バランスを追従調節します。自然光でなくとも通常の設置条件の場合は自動的に色バランスが得られますので、特に色調節を必要としません。
- オートホワイトバランスは被写体の色成分の平均値が白になるよう自動制御を行っています。従って単一色の被写体を画面一杯に映した場合、色が退色（うすくなる）場合があります。このような問題がある場合には画面全体に白被写体を映してオートホワイトバランスを得た後、[LOCK]を選択すると、以後は色パラメータが固定され、被写体の条件に左右されなくなります。この方法は照明条件が変化しない環境において最適な色調節と、被写体に左右されないホワイトバランスが簡単に得られる方法です。
- [LOCK] よりも厳密なホワイトバランスを必要とする場合は、[MANU]によりベクトルスコープ等の測定器を使用してホワイトバランスを設定してください。この場合は照明条件が変動しないことが条件となります。照明条件が変わった場合は再設定が必要です。
- 特殊な光源（水銀灯など）の場合は色再現性が悪くなる場合があります。

濃淡の設定 / 「C LEVEL」メニュー

「3. COLOR」メニュー（40ページ）で「C LEVEL」を選択します。

色の濃淡の設定を行います。

H方向	画面の色が濃くなります。
L方向	画面の色が薄くなります。

スイッチ説明

- UP
● : H方向に↓が移動します。
- DOWN
● : L方向に↓が移動します。
- MODE
● : 設定を記憶し「3. COLOR」メニューに戻ります。→40ページへ

クロマサプレスの設定 / 「SUPPRESS」メニュー

「3. COLOR」メニュー（40ページ）で「SUPPRESS」を選択します。

感度が低下した時の色の濃淡を設定します。

色を薄くするほど、ノイズが低減します。

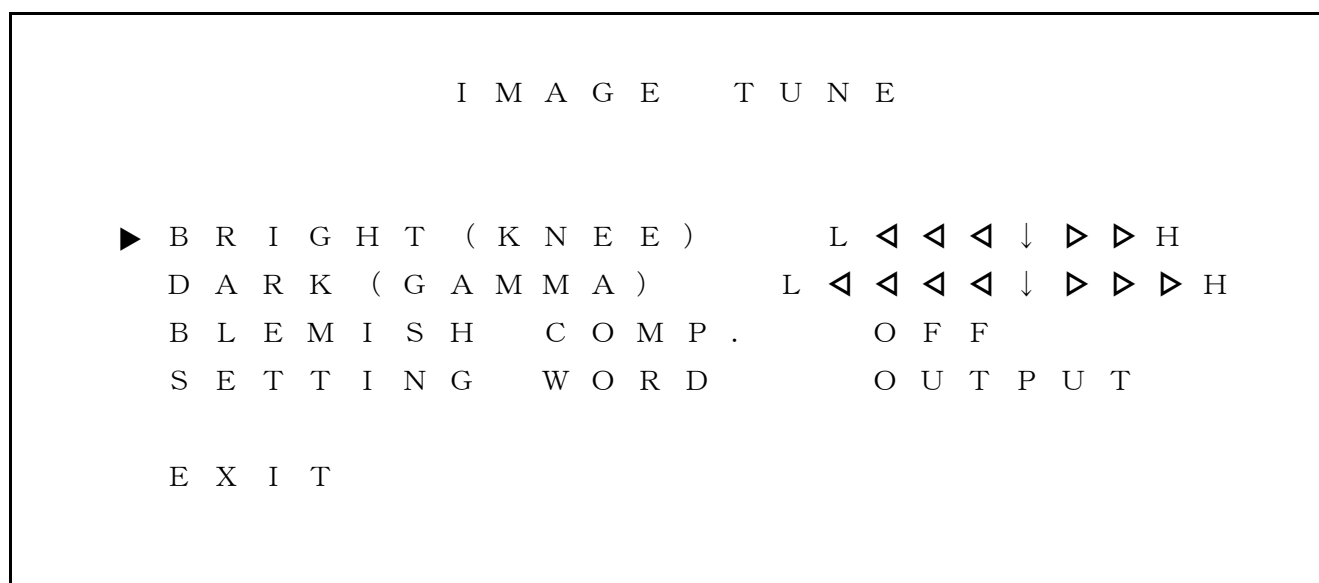
H方向	感度が低下した時、色を薄くし、色ノイズを低減します。
L方向	感度が低下した時でも色が残ります。

スイッチ説明

- UP
● : H方向に↓が移動します。
- DOWN
● : L方向に↓が移動します。
- MODE
● : 設定を記憶し「3. COLOR」メニューに戻ります。→40ページへ

IMAGE TUNE 画面

「ADJ ITEM」メニュー（17ページ）で「4. IMAGE TUNE」を選択すると、下記の画面が表示されます。



UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

BRIGHT (KNEE)	(ニーの設定)	→ 53ページ
DARK (GAMMA)	(ガンマの設定)	→ 53ページ
BLEMISH COMP.	(CCD 画素欠陥の検出・補正の設定)	→ 54ページ
SETTING WORD	(カメラ全設定の入出力選択)	→ 58ページ

ニーの設定 / 「BRIGHT (KNEE)」メニュー

「4. IMAGE TUNE」メニュー（52ページ）で「BRIGHT (KNEE)」を選択します。

ニーの設定を行います。

H方向	ニーの角度を寝かせます。
L方向	ニーの角度を立てます。

注) DC アイリスレンズを使用している場合は、輝度が適切に制御されているため、ニーの設定を行っても効果がわかりづらい場合があります。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「4. IMAGE TUNE」メニューへ戻ります。→52ページへ

ガンマの設定 / 「DARK (GAMMA)」メニュー

「4. IMAGE TUNE」メニュー（52ページ）で「DARK (GAMMA)」を選択します。

ガンマの設定を行います。

液晶モニタなど、暗部がつぶれやすい表示器をご使用の場合は、ガンマを持ち上げることで暗部が見やすくなります。

H方向	ガンマを持ち上げる方向に設定します。
L方向	ガンマを寝かせる方向に設定します。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「4. IMAGE TUNE」メニューへ戻ります。→52ページへ

画素欠陥の検出・補正の設定 / 「BLEMISH COMP.」メニュー

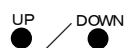
「4. IMAGE TUNE」メニュー（52ページ）で「BLEMISH COMP.」を選択します。

CCD の画素欠陥の検出・補正を行う際に設定します。

詳しくは、下記[CCD 画素欠陥補正について]を参照してください。

ON	画素欠陥の検出・補正を行います。
OFF	画素欠陥の検出・補正を行いません。
RESET	現在記憶している欠陥検出結果をリセットします。

スイッチ説明



：「OFF」の表示を、ボタン押下毎に・・・→「ON」→「OFF」→・・・と遷移します。



：「ON」表示時、設定を記憶して「BLEMISH COMP. SETTING」メニューに遷移します。

→55ページへ

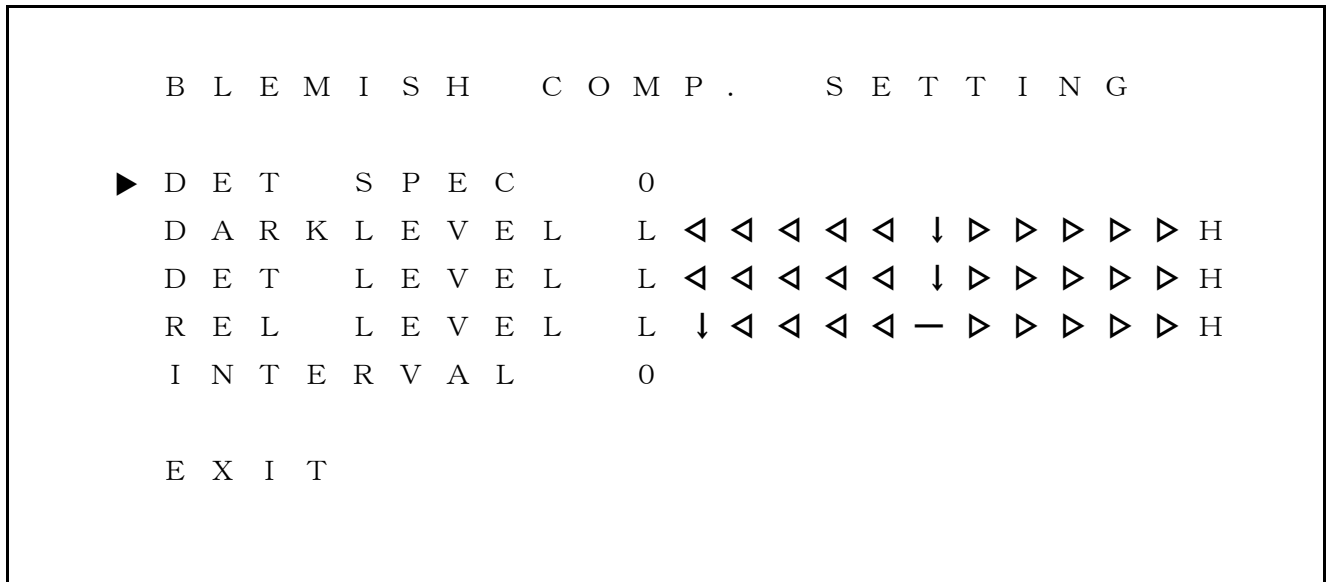
「OFF」表示時、設定を記憶して「4. IMAGE TUNE」メニューに戻ります。→52ページへ

[CCD 画素欠陥補正について]

- CCD 画素欠陥補正は、「BLEMISH COMP.」を「ON」にし、「BLEMISH COMP. SETTING」項目を設定し、「EXIT」を選択した際に初めて検出補正を開始します（55ページ参照）。
- 補正できる欠陥点数は、欠陥レベルの高い順に 32 点です。
- リアルタイムに自動検出を行っているため、被写体の状況により誤検出を行う場合があります。誤検出の総数が 32 点になった場合は、それ以上の欠陥検出を行うことができませんので、画素欠陥が見られない場合は「OFF」でご使用ください。

詳細設定項目 / 「BLEMISH COMP. SETTING」メニュー

「4. IMAGE TUNE」メニュー（52ページ）で「BLEMISH COMP. SETTING」を選択すると、下記の画面が表示されます。



各項目にて CCD 画素欠陥の検出・補正について設定します。

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、CCD 画素欠陥の検出補正を開始して、メニュー画面を終了します。UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

DET SPEC	（周囲画素数の設定）	→	56ページ
DARKLEVEL	（ダークレベル基準値の設定）	→	56ページ
DET LEVEL	（検出閾値の設定）	→	57ページ
REL LEVEL	（検出解除レベルの設定）	→	57ページ
INTERVAL	（待ちフィールド数の設定）	→	58ページ

周囲画素数の設定 / 「DET SPEC」メニュー

「BLEMISH COMP. SETTING」メニュー（55ページ）で「DET SPEC」を選択します。

画素欠陥検出を判定するために比較を行う周辺画素数を設定します。

誤検出を防ぐため、通常は「0」でご使用ください。

0	周辺 10 画素全て
1	周辺 10 画素中 1 つは判定外
2	周辺 10 画素中 2 つは判定外
3	周辺 10 画素中 3 つは判定外
4	上下左右 8 画素
5	上下左右 8 画素中 1 つは判定外
6	上下左右 4 画素
7	水平 4 画素

スイッチ説明

- ^{UP} : 「0」の表示を、ボタン押下毎に…「1」→「2」→…→「7」→「0」→「1」…と遷移します。
- ^{DOWN} : 「0」の表示を、ボタン押下毎に…「7」→「6」→…→「1」→「0」→「7」…と遷移します。
- ^{MODE} : 現在の設定を記憶して「BLEMISH COMP. SETTING」メニューに戻ります。→55ページへ

ダークレベル基準値の設定 / 「DARK LEVEL」メニュー

「BLEMISH COMP. SETTING」メニュー（55ページ）で「DARK LEVEL」を選択します。

画素欠陥検出時に基準とする周辺画素のダークレベル基準値の設定を行います。

H方向	ダークレベル基準値を高くします。
L方向	ダークレベル基準値を低くします。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「BLEMISH COMP. SETTING」メニューへ戻ります。→55ページへ

しきい値の設定／「DET LEVEL」メニュー

「BLEMISH COMP. SETTING」メニュー（55ページ）で「DET LEVEL」を選択します。

画素欠陥検出を検出するための検出レベル（しきい値）の設定を行います。

H方向	検出するためのしきい値を高くします。
L方向	検出するためのしきい値を低くします。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「BLEMISH COMP. SETTING」メニューへ戻ります。→55ページへ

解除レベルの設定／「REL LEVEL」メニュー

「BLEMISH COMP. SETTING」メニュー（55ページ）で「REL LEVEL」を選択します。

画素欠陥検出を解除するための解除レベル設定を行います。

いったん検出した欠陥画素を解除することができます。

H方向	欠陥として記憶されていた画素が解除されやすくなります。
L方向	欠陥として記憶されていた画素が解除されにくくなります。

スイッチ説明

- ^{UP} : H方向に↓が移動します。
- ^{DOWN} : L方向に↓が移動します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「BLEMISH COMP. SETTING」メニューへ戻ります。→55ページへ

待ちフィールド数の設定 / 「INTERVAL」メニュー

「BLEMISH COMP. SETTING」メニュー（55ページ）で「INTERVAL」を選択します。

欠陥検出時の待ちフィールド数を設定します。

こちらで設定したフィールド数の前後で比較し、一致した場合のみ欠陥として記憶します。

スイッチ説明

- ^{UP} : 「0」の表示を、ボタン押下毎に…「2」→「4」→…→「254」→「0」→「2」…と2つおきに遷移します。
- ^{DOWN} : 「0」の表示を、ボタン押下毎に…「254」→「252」→…→「2」→「0」→「254」…と2つおきに遷移します。
- ^{MODE} : 設定値を記憶して「BLEMISH COMP. SETTING」メニューへ戻ります。→55ページへ

カメラ設定の入出力選択 / 「SETTING WORD」メニュー

「4. IMAGE TUNE」メニュー（52ページ）で「SETTING WORD」を選択します。

カメラ設定内容のパスワード入出力を選択できます。

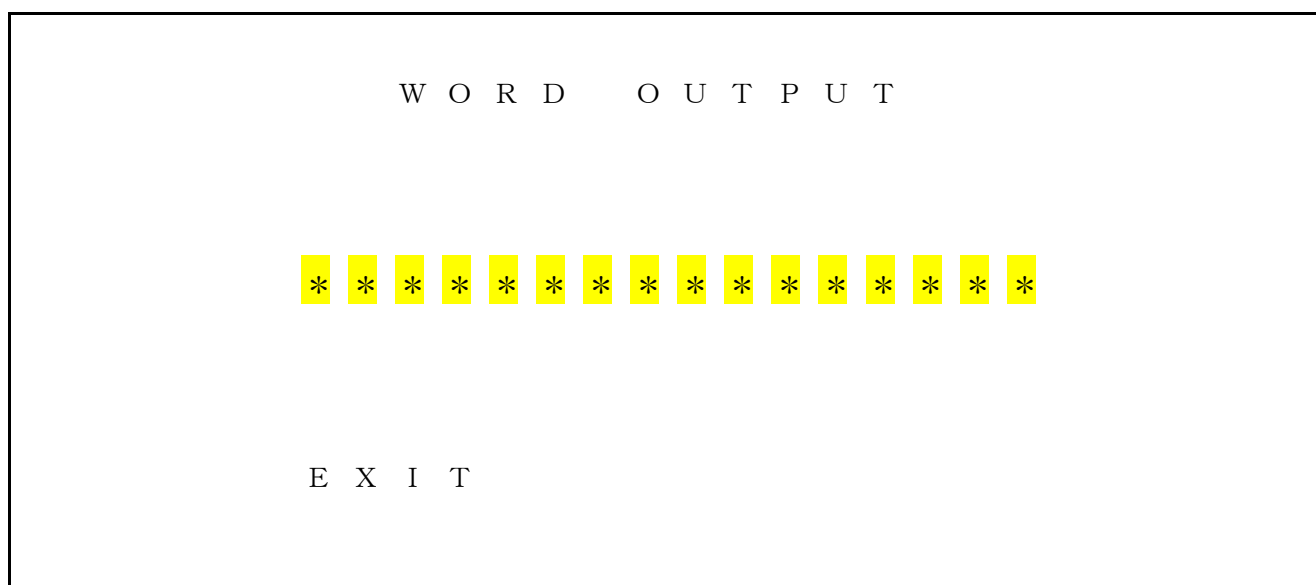
OUTPUT	現在設定されているカメラ設定内容を出力します。
INPUT	カメラ設定内容のパスワードを入力します。

スイッチ説明

- ^{UP} / ●^{DOWN} : 「OUTPUT」の表示を、ボタン押下毎に…→「INPUT」→「OUTPUT」→「INPUT」→…と遷移します。
- ^{MODE} : 「OUTPUT」表示時、「OUTPUT」メニューに遷移します。→59ページへ
「INPUT」表示時、「INPUT」メニューに遷移します。→60ページへ

カメラ設定項目出力 / 「WORD OUTPUT」メニュー

「SETTING WORD」メニュー（58ページ）で「OUTPUT」を選択すると、下記画面が表示されます。



ご使用中のカメラ設定内容を16桁のパスワードとして出力できます。

スイッチ説明

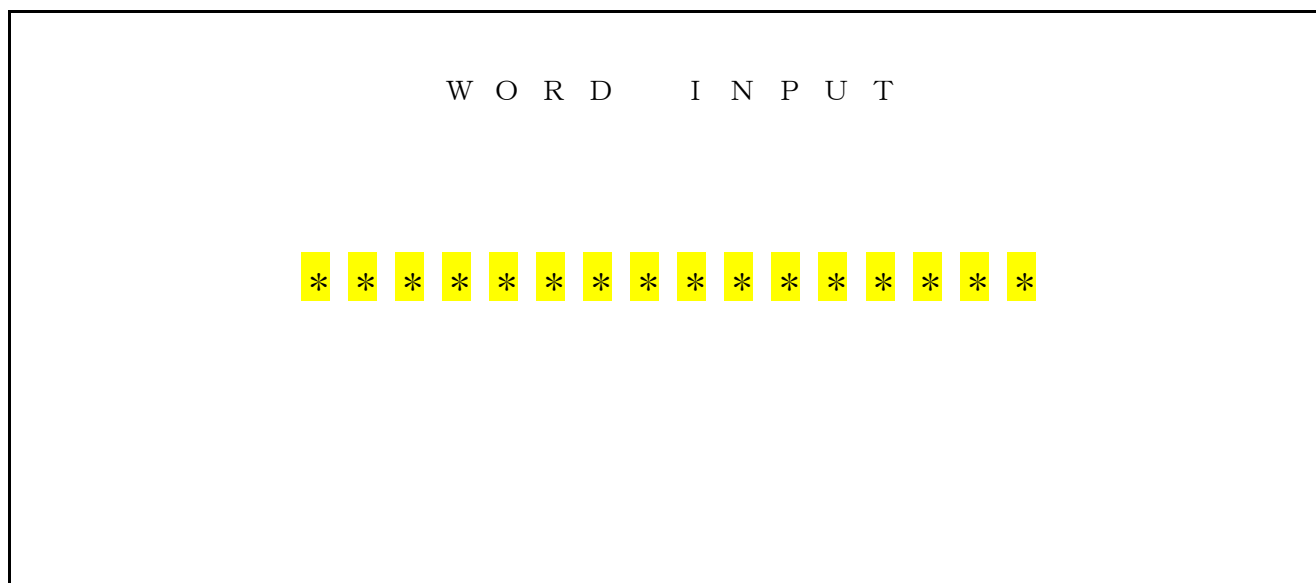
MODE ● : 「4. IMAGE TUNE」メニューへ戻ります。→58ページへ

■ 「WORD OUTPUT」メニューでパスワード化される設定内容は下記の通りです。

① 「MIC」	24ページ	⑪ 「AGC LEVEL」	36ページ
② 「IRIS SEL」	26ページ	⑫ 「MAX AGC」	37ページ
③ 「WIDTH H」	29ページ	⑬ 「AGC BOOST」	37ページ
④ 「WIDTH V」	29ページ	⑭ 「FLICKER」	38ページ
⑤ 「LOCATE H」	29ページ	⑮ 「DETAIL」	39ページ
⑥ 「LOCATE V」	29ページ	⑯ 「EXDETAIL」	39ページ
⑦ 「GAIN SEL」	30ページ	⑰ 「BRIGHT (KNEE)」	53ページ
⑧ 「SHUTTER」	32ページ	⑱ 「DARK (GAMMA)」	53ページ
⑨ 「MGC LEVEL」	33ページ	⑲ 「BLEMISH COMP.」	54ページ
⑩ 「IRIS LEVEL」	33ページ		

カメラ設定項目入力／「WORD INPUT」メニュー

「SETTING WORD」メニュー（58ページ）で「INPUT」を選択すると、下記画面が表示されます。



カメラ設定内容を 16 桁のパスワードとして入力できます。

スイッチ説明

- ^{UP} : 「0」の表示を、ボタン押下毎に…→「1」→「2」→…→「9」→「A」→「B」→…→「W」→「0」…と遷移します。
- ^{DOWN} : 「0」の表示を、ボタン押下毎に…→「W」→「V」→…→「A」→「9」→…→「1」→「0」…と遷移します。
- ^{MODE} : 1～15 桁反転時、隣の桁に遷移します。
16 桁反転時、設定を記憶してメニュー設定に反映させます。
そして、「SETTING WORD」メニューに戻ります。→58ページへ

CCD の傷について

- CCD は宇宙線の影響により、まれに白傷が発生することが報告されております。定量的データはまだありませんが、高度の高い地点での設置、航空機による CCD (セット含む) 輸送により発生頻度が高くなる事が確認されておりますので極力航空機による製品輸送は避けてください。
- 現時点でこれを防ぐ有効な手段はありません。本機は S/W による白傷補正を行っており、従来機種に比べ、白傷は改善されておりますが、細かな傷等が残る場合があります。白傷により運用上の弊害が発生した場合は CCD 交換を推奨いたします。(有料)

お手入れのしかた

- 電源を切ってからお手入れをしてください。
- 汚れがひどいときは、水で十分うすめた中性洗剤で拭いてください。
- 水をかけないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は電源を切ってからサービスをお申しつけください。

- 各ユニットの電源プラグがはずれていませんか？
- 同軸ケーブルは正しく接続されていますか？
- モニタの電源スイッチは ON になっていますか？

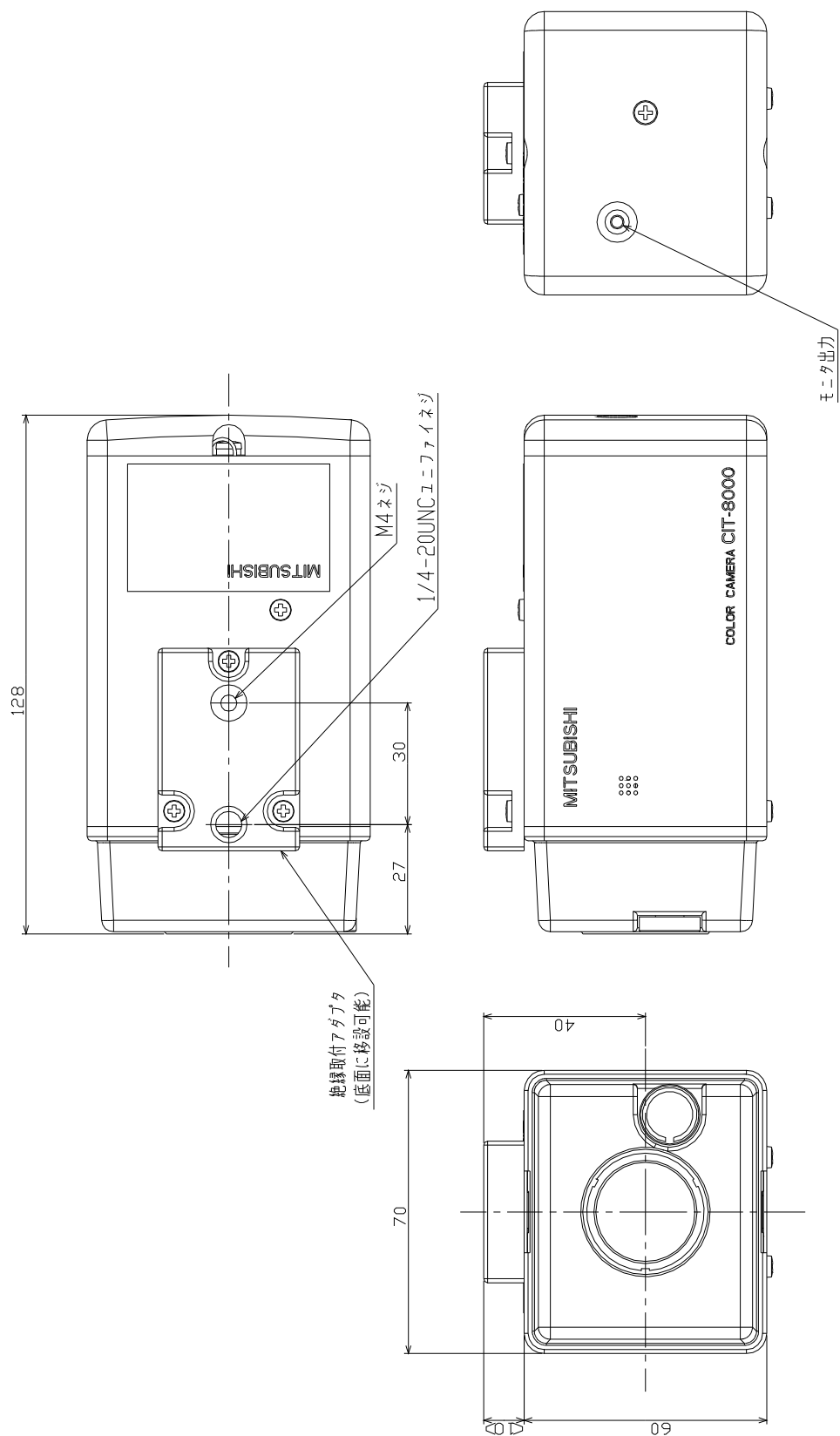
保証とアフターサービス

- 1 本保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は「保証期間」、「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。
- 2 無償修理規定
 - (1) 保証期間内 (お買上げ日より 1 年間) に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
 - (2) 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
 - ① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ② 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、及びその他天災地変などによる故障及び損傷。
 - ③ 特殊環境 (たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など) による故障及び損傷。
 - ④ 本書のご提示がない場合。
 - ⑤ 本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ⑥ 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN)
- 3 補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は 7 年です。(性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。) 詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

仕様

撮像素子	1/3 型インターライン転送方式 CCD
有効画素数	768(H)×494(V) …約 38 万画素
走査方式	2:1 インターレース
走査周波数	水平 15.734[kHz] 垂直 59.94[Hz]
同期方式	内部同期／外部同期（自動切換） 外部同期信号は映像出力端子より入力、カメラコントローラなど (カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど)より供給
映像出力	複合映像信号 1.0[Vp-p/75Ω] (同軸ケーブル直付け)
解像度	標準時 水平：480 本以上 垂直：350 本以上 高解像度時 水平：535 本以上 垂直：350 本以上
S/N 比	50[dB]以上 (AGC OFF 時)
電子シャッター	1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 [s]
最低被写体照度	0.5[lx] (F1.4, 1/60 s)
最大伝送距離	500 [m] カメラコントローラ (電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど) 間、5C-2V 使用時
使用温度、湿度	-10[°C]～+50[°C]、80[%RH]以下 (但し、結露しないこと)
電源	DC (カメラコントローラなど (電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ) より供給)
EE レンズ駆動出力	DC 駆動出力のみ (コネクタ：JEITA RC-5204 準拠)
レンズマウント	CS マウント
フリッカ補正機能	有り (1/100 s 電子シャッター)
リモコン機能	カメラコントローラ (カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど) より各種機能設定可能 (映像出力ケーブルに多重)
外部同期位相調節機能	H位相 24 段階
逆光補正機能	有り (エリア選択式)
カメラ ID 表示機能	有り (カナ・英数字・記号 12 桁、表示位置を 6 カ所から選択可能)
ホワイトバランス	自動／手動／ロック
音声入力	マイク内蔵 (映像出力ケーブルに多重出力)
ローカルモニタ出力	有り
構造	IP30 (JIS C 0920 屋内形)
質量	約 390[g]
塗装色	マンセル 5Y 8/1 (5 分ツヤ) 相当
外形寸法	70(W)×60(H)×166(D) [mm] (レンズカバー含む) 70(W)×60(H)×128(D) [mm] (レンズカバー含まず)

外形図



絶縁取付アダプタ
(底面に移設可能)

カメラ設定項目（メニュー）詳細説明もくじ

- 各設定項目（メニュー）は、下記より各説明ページをご参照ください。各設定項目（メニュー）の構成は P. 14, 15 の設定項目フローチャートをご参照ください。

設定アイテムの選択 (ADJ ITEM)	17
1. SYSTEM	18
同期位相の設定 (H SYNC)	19
カメラ ID 表示の選択 (ID DISP)	20
カメラ ID 表示の設定 (ID)	21
カメラ ID の設定 (ID SET)	22
カメラ ID 表示位置の設定 (ID PLACE)	23
マイクの選択 (MIC)	24
初期化の選択 (INITIAL)	24
2. Y CONTROL	25
アイリスモードの選択 (IRIS SEL)	26
逆光補正の設定 (SPOT)	26
測光枠のサイズ、位置設定 (WINDOW)	27
水平方向の測光枠サイズ設定 (WIDTH H)	29
垂直方向の測光枠サイズ設定 (WIDTH V)	29
水平方向の測光枠位置設定 (LOCATE H)	29
垂直方向の測光枠位置設定 (LOCATE V)	29
ゲインコントロールの選択 (GAIN SEL)	30
MGC の選択 (MGC)	30
MGC の設定 (MGC SET)	31
MGC 時シャッター速度の設定 (SHUTTER)	32
MGC レベルの設定 (MGC LEVEL)	33
アイリスの設定 (IRIS LEVEL)	33
AGC の選択 (AGC)	34
AGC の詳細設定の選択 (AGC SET)	35
AGC 時シャッター速度の選択 (SHUTTER)	36
画面の明るさの調整 (AGC LEVEL)	36
AGC 最大ゲインレベルの設定 (MAX AGC)	37
ゲインレベルアップの選択 (AGC BOOST)	37
フリッカ補正機能の選択 (FLICKER)	38
画質の調整 (DETAIL)	39
解像度の調整 (EXDETAIL)	39
3. COLOR	40
ホワイトバランスモードの選択 (WB SEL)	41
オートホワイトバランス設定の選択 (AUTO)	41
オートホワイトバランス詳細設定項目の選択 (AUTO WB SET)	42
対応照明の選択 (LIGHT)	43
赤、シアン方向のオートホワイトバランス微補正 (AWB R-Y)	44
青、黄方向のオートホワイトバランス微補正 (AWB B-Y)	44

赤、シアン方向の色相の設定 (HUE R-Y)	45
青、黄方向の色相の設定 (HUE B-Y)	45
マニュアルホワイトバランス設定の選択 (MANU)	46
マニュアルホワイトバランス詳細設定項目の選択 (MANU WB SET)	47
赤、青方向のマニュアルホワイトバランス設定 (MWB R-Y)	48
グリーン、マゼンダ方向のマニュアルホワイトバランス設定 (MWB B-Y)	48
赤、シアン方向の色相の設定 (HUE R-Y)	49
青、黄方向の色相の設定 (HUE B-Y)	49
ホワイトバランスロックの選択 (AWB LOCK)	50
濃淡の設定 (C LEVEL)	51
クロマサプレスの設定 (SUPPRESS)	51
4. IMAGE TUNE	52
ニーの設定 (BRIGHT (KNEE))	53
ガンマの設定 (DARK (GAMMA))	53
画素欠陥の検出・補正の設定 (BLEMISH COMP)	54
画素欠陥の検出・補正詳細設定項目の選択 (BLEMISH COMP. SETTING)	55
画素欠陥判定に用いる周囲画素数の設定 (DET SPEC)	56
ダークレベル基準値の設定 (DARK LEVEL)	56
検出閾値の設定 (DET LEVEL)	57
検出解除レベルの設定 (REL LEVEL)	57
検出時の待ちフィールド数の設定 (INTERVAL)	58
カメラ設定の入出力選択 (SETTING WORD)	58
カメラ設定項目出力 (WORD OUTPUT)	59
カメラ設定項目入力 (WORD INPUT)	60